から中共聯盟強化の前提としての両者の結合は不可能の状態になつた。

國際銀公司外資導入に活躍

新社長山田中將の凌水期待さる

アメリカの資本によつて設立されたが人的要素は全部日本人によつて構成され札幌
洲國北支等の資源開発事業に全力を傾注せんとした國際銀公司（資本金三千萬圓）は終末
日本の各拓殖会社と職場及び経営方針が衝突するため活躍の餘地がなかつたが、今次
事変勃発後大陸は自由経営方針を取入れると言ふ事から、外資の導入に一役買ふ事
になり遠かに活躍を開始した模様であるが、新社長に就任した山田陸軍中將の凌水
は各方面からその活躍を期待されてゐる。

三〇

〓 今後政治的に注目される團體 〓

大和、掌國党、農革協議会

岡田、川島大將等重視さる

支那事変をめぐつて國内外ともに複雑なる場面を展開しつゝあるが特に政界方面
に於ける空氣は素議会を前にして相當色々な動きをなして居るが今後特に其の動向
を注目されるものに左の四團体がある即ち

一、大和倶樂部を中心とした大陸政策に関する活躍である。此の團体は屢々政界に
噂に上ることは革新陣営の巨頭連の会合であること。

二、岡田会、岡田啓介大將を中心とする動きである、岡田大將は二二六事件以来表
面的に運動をしなかつたが数日前左の内常盤に会合した事実があり此の動きも今
後注目されるものがある。

三、此の二、三年来議会を前後話題となる新党運動の母体であると見られる挙國党
（假称）の動向である。（党首は川島義之大將か）

三一

四、有馬農相の去就下にある革新農村協議会の農村青年を中心とする政治的運動である。

前記の團体は革新時代に於ける中心となる模様であり各方面より注目されてゐる。

‖ 占領地區内の銀買上説 ‖

正貨準備として紙幣を発行し

同地區内の資源開発に金融

戰後の大陸経営を如何にすべきかと言ふ事は我國民に課せられた重大課題で、朝野の間に熱心なる研討が行はれてゐるが、財界の一部には戰爭と併行して占領地區の経済開発は急速に行ふべきで、これには占領地區の銀を總動員して、之を発行準備となし之に依つて紙幣を発行して資源開発に金融せよと言ふ意見があらはれ、眼下今南く輿論として強力になりつゝあるが、之が技術的工作を如何にするかと言ふ事が残された問題となつてゐる様であるから早晩占領地區の銀買上問題は取り上げら

れるものとして見做されてゐる。

‖ 中島飛行工場を國家管理に ‖

戰爭對應の経済機構改革の爲

軍部関係有力方面の要望

電力國家管理以来、國家として必須の物資生産は國家統制乃至管理さると言ふ傾向が事変後特に著しく現今様太に拓殖会社を設立して様太の資源開発をなさんとする計畫が拓務省内にあつて、しかも王子をこの中に吸收すべしと言ふ意見もあり、この一段階種であるが、又軍需品工場を國家管理に移すべしと言ふ意見もあり、この一段階として中島飛行機製作所を國家が経営すべしと説へるものもあらはれてゐる。この説に對し中島知久平氏は中島飛行機製作所が必要上國営となる事は結構な事であり之の爲無報酬になる筈があつてもそれは止むを得ないと言つてゐる。若し之が実現さるる事になれば、他の軍需品工場も漸次國家管理に移さるるものと見られてゐる

が、之は一種の戰時に於ける経済機構の改革であると言はれてゐる。

首相の西園寺公訪問で

政府は一段と強化されたが、技術的處理が注視される

去る十五日近衛首相が西園寺公を訪問したことは政界に多大な影響を與へたが、此の訪問によつて内閣の改造説等が傳へられて居るが実際問題としては改造等実現は困難であり其の意圖は全く無いと見られる、即ち、今回訪問した理由として言はれる所は要するに翼口攻落後に於ける對支政策、明年度豫算問題並びに議会對策等であると見られるのが妥當視されてゐる。此の訪問後に於ける政府は一段と強化され五相会議によつて決定された對支根本方針に邁進する模様であり、今後何等政局に異変が起るものと豫想されず前記の如く強化されたと見るべきであると政界通方面で傳へられて居り然し近衛首相が如何に技術的に事変を處理して行くかが問題視されてゐる。

産業経済最高方針樹立のため

商工省に顧問制制定か

宇垣外相が、さきに外務省に顧問制を設置した例に倣ひ此回商相に産業経済の最高方針樹立のため商工省に顧問制を制定することに内定した模様であるが、これは對支長期戰に對應し、大陸の経済開発に伴ふ國内の産業経済國策樹立に関して参謀本部の役割をなさしめんとする最高諮問機関であるがこれには商工省と最も関係深い前閣僚、財界有力者の間からメムバーを選定する模様で目下噂に上つてゐる人々は、谷務謙吉、小川郷太郎、吉野信二、伍堂卓雄氏等である。人員は大体三名乃至五名程度であると言はれてゐる。

‖ 政治上層機構改革と ‖

國民政党樹立の動き

漢口攻略を契機として政治的に活発な動きがあるだらうとは早や常識となつてゐるが、これについて先づ第一に予想される事は政治上層機構の改革である。この要は一は近衛公年来の主張である行政機構の改革であり、これは既報の如く國務大臣と行政長官の兼任を併き各省大臣を廃し、全部総理府大臣となす案であらう。これは従来各大臣が所管事項に拘泥して割據主義に流れ、真の國策樹立には不便であつた事が世上に認められてゐるから時局柄近衛公の決意如何では容易な問題である。次は各省政務官を廃し内閣直属の政治局を設け参與を置くと言ふ事も可能性があり又秋山氏提唱の挙國党案は支配階級の總動員が目的で國内相剋解消、挙國一致を実現するには最も良き案として一部に迎へられてゐる様である。一方政党はこの非常時局に單なる調査機関として、遺憾に於ては政府の政策を鵜呑みにするに止る放風落莫たる状態であるため、上は秋山氏の挙國党の動き、下に向つて耕作者を中心として

革新政党樹立に向つて邁進してゐる日本農村革新協議会があり、之と並行して東方会、東亜國策研究会、大日本連動等新党樹立に奔走してゐる様であるが、之等の思想的歸趨は結局國民政党樹立にあるらしい。

‖ 人的要素拡充の建前から ‖

小磯、柳川両将軍を第一線へ

板垣陸相の措置期待さる

板垣陸相が自ら強く責任を感じ、極く最近に於て解決したき意圖を持ち下ら赤だ果し得ぬ事は小磯、柳川両将軍を如何にすべきかと言ふ問題である。小磯大将については既に参議説或は拓務大臣説等が立つてゐるに拘はらず種々の事情から実現しないのであるが、最近では對支機関の首脳に同大将を考慮してゐる如く傳へられてゐる。併し是は軍部の意向如何に依るもので板垣陸相の独断で事を運び得ない憾みがある

ので、若し南朝鮮總督が内地の榮職に就く事になれば、その後任には同大將が最適任で、可能性は充分にあると見られてゐる。又柳川將軍については嶄施直後大將榮進、又は入閣等の噂が立つたが戰時下日本の人的要素強化の必要ある時小磯大將と共に野に膕肉の嘆を喞たしむる事の不合理なる事を主張する者多く、何れにしても近く兩將軍を第一線に送り出すであらう事は各方面が異口同音な期待を以て迎へてゐるから、機會さえあれば板垣陸相は之の実現を圖るものと見られてゐる。

‖ 政黨興廢の分岐點は来議会 ‖

政黨新事態對應の國策樹立に腐心

國民が果して場来を送るか否か

戰局の進展と共に既成政黨は益々萎縮し、戰時下日本の政界をリードする氣力なく、ために新黨樹立等の聲が頻りに傳へられてゐるが、政民兩黨の中に、来る七十四議會に於て若し政黨の存在を嶄然する事が出来なければ、永却に政權は政黨に来らずと見る向多く、如何なる方法で「政黨健在なり」を示現するかについて秘密裡に協議してゐる模様であるが、傳へられる處によれば政友會に於ては既に政府の一月十六日の聲明に添ふべき支那狂濤再建の具体案を極秘密裡に討究しつゝあると言ふが、民政黨に於ても之に對抗する大陸経営の大方針樹立について考究してゐると言ふ。併し兩者蓋を明けた場合、果して國民が之に喝采を送るか否かゞ政黨興廢の分岐點の如く見る向もある。

‖ 右翼各團体分裂の危機 ‖

對ソ、對英兩派の對立

滿洲事変以来我が右翼陣営に於ては思想的、政治的に兩派が生じその後國旗明徴問題、電力問題、國家總動員問題等悉くに正反對な行動をなし来り此のために一貫した統制を圖る事が出来ず一時はその各派の連絡機關である時局協議会の解散説すら傳つたのである。然し今次事変が発生するや從来同様の意見の對立を生じ、北進

派、南進派に別れ一方はソ聯膺懲を叫び一方は親英を主張するなど明らかにその對立を示したのである。然るに一團体一會に於てもその同志中に相反する行動をなして居るので各會各團体共に首脳部は悩みつゝあるので此の動向は現在の右翼陣営團体に重大な分裂作用をなすものと注目されてある。

‖ 民間支配階級の總動員 ‖

秋山、前田、小川氏等活躍

結局新党の母体とならん

長期戰に對處するためには政府は國民精神總動員中央聯盟の再組織を斷行し官民一致協力統制機関の強化案に就いて目下研究中であると傳へられるが、既報參謀党結成に猛運動をなしてゐる秋山定輔、秋田清、久原房之助、石原廣一郎、小川平吉、前田米藏、中島知久平、大竹貫一、永井柳太郎の諸氏は新党を結成する前に先づ現下の總動員である國民總動員計畫の徹底を期するために政府の中央聯盟と提携する民間側の總動員機関を設置する必要があると言ふ見地より各階級の指導者總動員による國民運動を起し將來は同機関を新党の母体ならしむべく屡々協議を續けられてゐる模様であり此の成行は極めて重大視されてゐる。

‖ 總動員法は全面的に發動せよ ‖

軍部関係、革新、愛國陣営蹶起

政府に強硬なる進言をなさん

戰局の切迫につれ七十三議会に於て通過を見た國家總動員法の全面的發動が各方面から要望されて来たが、之は從来独占資本家群の反對により枝葉末節の一部分が發動されたに過ぎない狀態にあるが、この資本家群の意向は協調会の時局對策委員の主宰する産業報國運動にさへ影響して事変の犠牲は結局從業員、労働者に轉嫁せられる傾向を示すに至つてゐるが、之に對し軍部関係、革新、愛國陣営に於ては、總動員法の全面的發動を促進すべく政府に強硬なる進言をなす模様でこの成行は注

旨さ れてゐる。

‖ 新支那對策討究のため ‖

大川、石原両氏協議せん

新党運動も展開を見ん

政治シーズン切迫と共に、事変も愈々第三階段に入り、之れに對應する國策樹立の必要に迫られ各政党、革新各團体等でも真剣に事変對策を討究しつゝあるが、先般来支中であった大川周明博士歸朝と共に東亜経済調査局では遂かに協議会を開催、對支根本方針樹立に就き談合した模様であるが、愈々の葬儀のため滞京してゐた石原廣一郎氏も入京したので大和クラブに於ても久し振りに大川、石原両氏の顔が合ふ譯で、之れに依つて對支根本方針の決定版が発表されるものと各方面が期待してゐる模様である。又國内問題としては社山氏等の「一挙一党」等の新党問題が話題に上るであらうが、對支國策樹立と新党問題は結局關連して新しい動きを見せる事に間違ひはなく、特別の旗織なきため行悩んでゐた新党運動も大和クラブの奔走によつて外廓的に掩護され局面が打開されるものと期待する向多く、近衛首相も喜ぶ意見を求める方針であるため、新國策が民間によつて生れたとしてもやゝ國情的に排撃する憾れはないと見られてゐる。從つて茲に生れんとする新党に、假令近衛首相が直接首脳として出馬しなくても、旗織さえ明瞭なれば、実現性は充分なりと有力視されてゐる。

‖ 依然北支会社人事問題難航 ‖

大谷總裁風見副総裁の協議

産業役は結局永山氏素出すか

北支開発、中支振興両会社とも十三日以来第一回払込の徴收を開始し、その他諸般の準備も略完成してゐるに不拘、役員が決定せず、ために十月三十日の總会召集

日を控へて大谷、児玉両總裁は愈愈してゐる模様である。中支振興の方よりも北支開発の方は副總裁の銓衡に現地の複雑なる事情、軍部関係等デリケートな問題が多々あるため依然難航を續けてはゐるが、期日の切迫と共に関係當局の決定を早急に確定せしむべく奔走中である尚理事は北支三名、中支五名で、銓衡方針としては官僚を排し財界、産業界代表から選任する模様である。この間大谷北支總裁は去る定例参議会後、國見議長と会談、中間報告をなし協議した模様である。然しこの重役陣銓衡にも結局は秋山定輔氏の手を煩はす事になるであらうが、軍方面の要求もあり、番町会のメムバーは官僚と共に銓衡の範圍外にあるため、その局衝が臨められてゐる丈けに却つて選定に苦しむ形である。

‖ 久原氏の報知買收説 ‖

政治的根據ありと注視さる

二二 去事件發元逓相久原房之助氏の政界再出馬は各方面より注視されてゐたが、

最近愈々積極的に乘出したと傳へられてゐる。即ち挙國党への参加説又は目下紛糾を續けて居る報知新聞社の乘取説等であるが同問題に就いては同社論説員であつた木原氏がその中心で幹部級の栄轉と称して地方に轉出せしめ（支那事変関係）んとなしたが遂に暴露されるに至り木原氏は辞任を見るに至つたのであると傳へられて居り此の久原氏の報知買收には相當政治的根據があると見られてゐる。

‖ 小会派方面に宣戰布告論起る ‖

清瀬一郎氏議会で要望か

支那事変下に於ける未議会は凡ゆる角度より見て政界各方面から注視されてゐるが、特にその動向を重大視されてゐる革新陣営、右翼陣営方面の對策である、一部小会派方面も同様視されて居り、傳へられる處によれば清瀬一郎氏（國同）は政府の消極的態度に不満を有し、政府に宣戰布告を要望すると言はれてゐる。即ち事変

は既に拡大され支那全土に亘つて居り、世界各國共に日支事変は既に戰爭視してゐるのであるから速やかに宣戰布告をなし國民には更に擧國一致体制の強化を圖るべきであると言ふのである。かゝる見地からして来議会に於ては相當波瀾が豫想され政界からは既に注目されてゐる。

‖ 北支開発の副總裁 ‖

興銀の小竹、滿鐵の大村兩氏か

難航を續けて来た北支開発会社の重役銓衡は、副總裁に興銀の小竹理事、滿鐵の大村卓一氏に内定した模様であるが三名の理事については依然者多く、選定に苦しんでゐる模様である。而して重役全部の発表は理事決定と同時であると言はれてゐる。

‖ 櫻内氏の三日間に亘る招宴 ‖

民政少壯代議士との協議は

政党更生問題對議会策か

民政党の櫻内幸雄氏は十九、二十、二十一日の三日間に亘り、九の内常盤に於て民政党内少壯代議士を招請して何事かを協議した模様であるが、目下民政党に於ては町田總裁の任期が切迫して居り、幹部主流は町田氏の再選を希望して居り、少壯派は永井遞相を擁したき意向を持つてゐる際、櫻内氏の少壯代議士招請は各方面の注目を惹いてゐるが、来議会は政党興廃の分岐點と見る向きが多いため、總裁問題等を論ずる時期でないと見て、支那問題に関する對議会策につき協議したのではないかと見られてゐる。

‖ 愛國的な思想的對立 ‖

日独伊の軍事同盟説と

對支問題有利解決の反對説

第二の欧洲戰爭の危機を孕んでゐると言はれ世界注視の的となつてゐる千エコ問題ではソ聯は完全に圏外に置かれたについて、革新陣営方面で日独伊防共協定を強化する意味に於て之を更に軍事同盟迄に進めれば對ソ関係を有利に展開せしめ得るとして之を主張迫言してゐる様であるが、一方之が英米佛等の三國に知れる事は今後外交関係に悪影響あり、從つて對支関係に於て不利であるとの反對的意見があらはれて對立してゐる。之は對外問題に於て、南進、北進の思想的二潮流交錯のあらはれで、何れにしても之等愛國的な思想的な對立は喜ぶべき現象として政府に於ては努めて耳を傾けんとしてゐる模様である。

‖ 日伊共同出資の大航空会社 ‖

津田信吾氏の斡旋で成立近し

去る五日伊國経済使節團一行の来朝以来日伊提携による國際的大航空会社の設立問題が再燃し秘かに伊國との間に交渉が一つ

に軍部の意向に左右されるので、前途難関を孕想されてゐたが、最近津田信吾氏の奔走により軍部関係の諒解成つたと傳へられ、成立は近いと見られてゐるが、資本金五千萬圓で会社名は「國際工業会社」となし、飛行機製作を唯一の目的とするしく工場設計、製作機械の供給、技師の派遣は伊國側でなす模様である。

因みに新会社の製作する飛行機の種類は左の如し。

一、アール。アール二〇型

二、フイアツト会社パテントの一般飛行機

‖ 農革、産報、技聯の合同は ‖

新右翼政党の母体とならん

右翼陣営積極的に乗出す

注目力の擴充を計るために労資一体の実現を期す目的を以て結成された産業報國聯盟、農村革新協議会は愈々十月下旬合同結成式を挙ぐる段取りとなつて始るが、

此の團体が政治的活躍をなすと言ふので各方面で重視されて来たが新團聯盟の結成當初は但在學組合が中心であり之のため右翼團体方面では之を非難してゐたが最近では同團体内に漸次勢力（相當）を指し、殆んど出尽つて居り、本月上旬に結成された帝大工学部を中心とする技術者聯盟も新團聯盟に合流する模様であるが之等の諸團体は全部新體制關係者が指導してゐるので産業、農業、技術の合流による政治團体が新党結成の母体となるものと見られ水政界より注目されてゐる。

教育者の渡支を現地で希望

支那再建の教育方針樹立のため

時節柄とは言ひ乍ら、事変以後の支那を見ざるものは人に非ずと許りに、貴衆両院議員を初めとして財界、愛國陣營各層の人々が、皇軍慰問或は現地視察の名を藉りて大陸に渡る傾向があるが、之は程度を越えると却つて効果はうすく、遂に悪意はなくとも言葉の場合によつては御邪魔の下、理當局で出来得る限り渡支を制限する模様である。

歐洲動乱チエコ問題で

東方会聲明書を發す

日支事変と共に成行重視さる

歐洲動乱の鍵を持つチエコ問題は既に時間の問題となり、東亜に於ける日支事変以上に世界各國は其の成行を極めて重視してゐるが、我が朝野に於ても盟邦ドイツが其の中心である關係より多大の關心を持してゐるが、最近愈々チエコ問題による世界第二次大戦が懸念されるので愛國團体方面ではドイツ支持をなすべく準備して

見る模様であるが、政党方面に於ても頗重に協議され居る。去る二十五日東方会は總務会を開き千エコ問題に就いて絶對支持の聲明を発し、今後千エコ問題を國民的ドイツ支持運動となすべく協議されつゝある模様であり、漸やく我が國でも千エコ問題が政治的問題となりつゝあることは日支事変の成行と共に重要視されてゐる。

‖ 挙國政党の党首問題 ‖

近衛公、秋田氏に拒絶された場合

指導階級總動員計畫も挫折か

國民精神總動員中央聯盟の強化と並行して國内の相剋軽減の解消を目的として所謂指導階級總動員を劃策してゐる荻山氏提唱の「挙國政党」の動きは、この中に政党も包含して議会内に於ても戰争目的遂行の挙國一致の実を挙げたき希望があり、擧ぐる革新政党の態度を取る事になるので、党首には是非共近衛首相を推したく二十

三日秋田清は近衛首相を訪問、党首としての出馬について懇談したが、首相は「挙國政党」の趣旨には賛成するが、党首として出馬不能を説いて秋田氏の申出を拒絶した模様であるが、これについて秋田氏はさい後荻山、小川、久原諸氏とも談合した模様であるが、結局近衛公出馬困難な場合は新党は勿論、單なる指導階級總動員の計畫も挫折するに至るではないかと見られてゐる。

‖ 對支院案は枢密院の諮詢を経ず ‖

對支院案は枢密院の諮詢を経ず

便法、暫定的設置の方針か

外務陸軍の諒解成れば直に成立

對支中央機関「對支院」は陸軍、外務の間に意見の對立あり行悩みの状態にあつたが、漢口攻略も切迫して設置の必要は焦眉の問題となつて来たので、目下両當局の間で折衝中であるが外務省内にある對支文化事業部を對支院に移管する事は外務省の職制の上から面目の問題となつて居り、若し外務、陸軍両當局の間に妥協が成

つても、枢密院に於て問題となり若しこの對支院案が枢密院で否決される事になれば我が政治問題となり政局に大影響があるので政府内ではこの問題について微妙研究しつゝあつたが、今週廣島へ旅行の豫定であつた米内海相がそれを延期した事から、この對支院案の成立見透しがつき、今週中には成立すると見られてゐる。而して成案は枢密院の諮詢を経ず便法を以つて暫定的に設置すると言ふ方針を取るに決した模様である。

‖「経済会計検査院」案‖

土方、本位田民等革新教授の献策

「革新社」愈々実践運動に邁進

汎政人民戰線派教授檢挙の時、大内教授の罷免問題から東大内の革新教授が一斉に象牙の塔より街頭へ。しかも革新政策断行のスローガンを掲げ、帝大、私大専門学校の教授を併合して革新社を結成し八月一日以来その組織網である学者、思想家の指導する「労働奉仕團」と機関紙「革新」の讀者網を動員して実践的革新政策遂行について啓蒙講演会を各地で開催、可なりの反響を得た模様であるが、漢口戰の切迫と共に愈々戰時体制強化の必要に迫られこれに對應する経済政策樹立についての実践的論策を発表するが、それは大体産業会社が利潤を産業以外に持ち出すと言ふ資本主義の悪弊を是正するため、「産業会計検査院」を設け徹底的に産業以外に持出す利潤を國家が管理して之を國家に献納させすべしと言ふのであるが、これは産業國営論が理想案であるに對し実践的な具体案として注目されてゐる。即ち経済警察は実際問題として独占資本家群の事業内容について寛知し得ず、僅かに中小商工業者の経済的検察しか行へない状態であるため、この論策は時局柄國家總動員法と共に直ちに実践に移すべしと言ふ義論があらはれてゐる模様である。因にこの革新社の資金的背景は理研の大河内正敏博士でメムバーは左の如し

（京大）田邊忠男、中西寅雄、本位田祥男、（立教）田中精一、鍋島達（法政）小野武夫、松本烝次、（早稲田）杉森孝次郎、森谷末夫、中村

佐一、（慶應）加田哲二、金原賢之助、（商大）上田貞次郎、猪谷善一、井藤半弥、山口茂、（京大）小田莊一、谷口吉彦、八木芳之助、柴田敬、（大阪商大）河田嗣郎、藤田敬三、堀經夫、淺香末起、（台北大）北山富久二郎、（名古屋商）赤松要、高田喜代藏、西井正三郎、（福島商）中村常次郎、（関西学院）古屋美貞。

‖ 千エコ問題でドイツ支持 ‖

三派連合で國民的運動起る

東方會。國同。右翼各派

欧洲問題は我が國に於ても政治問題化しつゝあるが去る二十五日東方会で党議を以て盟邦ドイツ支持の聲明を發すると共に全國民に向つて民衆運動を起すべく準備を進めつゝある今日迄る二十七日國民同盟に於ても千エコ問題が論議され、札幌方面同様ドイツ支持の聲明を發表した。又右翼方面に於ても時局協議会が中心となり、生産党、革新党、日本青年党等が参加し日本愛國各派有志会を結成するに至つた。尚

会と東方会、國同と三派連合し、ドイツ支持を大々的に國民運動となすべく協議されてゐる模様である。政府要路方面にも積極的に働きかけると言ふにあり宮民一致ドイツ絶對支持をなすべく計畫されてゐることは政治方面に多大な反響を與へるものと注視されてゐる。

‖ 日本農民組合の中央聯盟脱退は ‖

社大党、産業報國聯盟に大影響

杉山氏指導精神轉向の誹謗運動

國民精神總動員中央聯盟はその内容を充実するため、先般從來の委員會を整理したが、その中でも日本農民組合はその指導精神に於て多少修正すべき個所ありと言ふ理由から、海員組合と共に脱退を餘儀なくされたが、既報杉山元治郎氏は之を遺憾として「オロギー」の轉向と共に合同に諒解を求めるため奔走してゐる模様であるが、若しこのまゝ中央聯盟に復歸出來ざる時は世上の誤解のまゝ葬り去られる事

になり、しかも農民組合、海員組合共に社大党の下部組織であるため列いては社大党迄が疎外を受ける許りでなく、農民且亦は産業報国聯盟にも参加して居る関係で産報聯盟にも影響があると言ふ関係からこの問題では社大党、産報聯盟共に杉山氏の斡旋に助力してゐると言はれてゐる。

⑩ 宇垣外相辞任の眞相

突如辞表を呈出した宇垣外相の辞任理由については種々憶測が行はれてゐる模様であるが、抑も宇垣大将が外相に望まれて甘閣に列した所以は、朝鮮總督當時示した圓滑滑達な政治的手腕が買はれた事は言ふ迄もないが、この手腕を如何なる方面に向つて示すかと言ふ事は各方面での期待が一致してゐなかつた様である。即ち政党、財閥方面では流産當時よりも軍の感情が緩和されてゐるため、その貢献意見、手腕から軍を或程度リードするものと見た向があつた様である。一方軍方面の期待と衝突すれば、次期の経緯を以てすれば、支那事変解決以外には絶對に挙國を作らねばならぬ。

と言ふ某方面の思想的堅壘に向つて或程度の譲歩を要望し、戰争目的遂行のため然るに宇垣外交は以上の二つの期待を何れも裏切つて、宇垣大将らしい独自の宇垣外交を築かんとした處に蹉跌があつたのである。要するに宇垣大将は何人も譲歩を要望し得ぬであらうと言はれてゐる某方面に怪腕を振ひ、軍を掩護して、一月十六日の聲明に對し如何に善處すべきかを考へ れば能事足れるものであつた。かくすれば所謂「對支院」問題に對し外交大權干犯呼ばはり等もせずに圓満なる施政が行はれたものである。つまり宇垣大将が次期の處理大臣たらんとする工作が逆に現在處理大臣たるの疑心を招て如何にしたなら總理大臣にならないかと言ふ事を考へ國家のため一兵卒として行動すれば逆に總理大臣たり得たかも知れないのである。直接原因として言はれてゐる八月廿八日近衛公の矢野別荘に於ける新聞記者との会談問題、クレーギー会談の某方面の反感、對支院問題に関しての外務所管の面子問題等は要するに宇垣大将の右の如き

言動による波文に過ぎないのである。又辞職の理由に外務大臣侵害云々の言辞を添えた事は、従来ならば閣下に奏上する事を躊躇し、全各僚が一應慰留するか、絶辞の奉に出ずべきであるが、茲に厳たる「時局の偉大なる力」を認識し得なかつた宇垣大将周囲の手落ちがある譯で、この事は既に情報として大将自身の耳に這入つてゐて然るべきであつた。今後若し大将が政治的に更生せんとせば歴史的な世界的な趨向を洞察認識して、大将に良言を呈する周圍の清算が肝要であるとは消息通一般の見方の様である。

十月中に於ける

政界裏面史情報

拾月（目次）

一、内閣強化工作の見解 ‖ 小磯、松岡兩氏の入閣説と
　風見、瀧兩氏の起用説 …… (一)

一、宇垣氏の辞任は現内閣に拍一蔟 ‖ 外廓補強工作に拳國虎
　運動再燃　櫻内、中島兩派の動向注目さる …… (二)

一、戰局の発展に伴ふ ‖ 南方懇談會の活躍
　南進を叫び政治的に注目さる …… (三)

一、人心安定のため閣僚補充運動
　塩野、水戸、板垣各相動く …… (三)

一、專任外相問題愈々表面化 ‖ 結局白鳥大使の就任実現化
有田、松岡、斎藤は難色あり ……（五）

一、外務省次官以下首脳部 ‖ 近く愈々大異動行はれん
革新派の抬頭注目さる ……（六）

一、新設對支委員會の構成 ‖ 各層より人材を網羅せん
最高顧問は阪西　津田雨中將か ……（七）

一、宇垣大將は何處へ行く ‖ 残存宇垣宗の政治的更生策
実践経済政策樹立に邁進か ……（八）

一、議會對策左翼にも反對氣配 ‖ 今事変に適用せめ首相の答辨
財源は全面的に發動反對意向 ……（九）

一、澎湃たる全体主義の鼓吹 ‖ 経済、政治、労働
各團体の官制化（其一） ……（一〇）

一、白鳥大使外相就任は時期の問題 ‖ 澤田次官以下首脳部の
移動は結果白鳥人事で革新派の抬頭 ……（二）

一、神兵隊關係者の活躍 ‖ 右翼陣営を牛耳る
今後の政局に重大影響 ……（三）

一、澎湃たる全体主義の鼓吹 ‖
経済、政治、労働各團体の官制化（其二） ……（四）

一、專任拓相は児玉伯か ‖ 電力黨革の論功行賞
小林大将は満蒙問題で不能 …… (一七)

一、拳國党の運動方針改変 ‖ 松岡氏の上京を契機に活動
國民外交、大陸政策に協力 …… (一八)

一、議員制度の改革見透し付く ‖ 貴族院案の通過確実か
結局議員数の減少とならん …… (一九)

一、「拳國党」愈々有望か ‖ 政党出身閣僚参議の中心話題
近衛公の党首に出馬可能性あり …… (二〇)

一、言論機関の統制愈々実施か ‖
急撃なる断行を避け漸進主義 …… (二)

一、拓務省南進政策に来出す ‖
拓相專任問題拓頭の所以 …… (三)

一、青年團組織の改革と ‖ 思想政治的教育の徹底を
革新陣営方面で極力要望 …… (三)

一、新党樹立氣運濃厚 ‖
今次事変新段階對應のため …… (四)

一、松岡總裁の外相就任運動は ‖ 建川中將の滿鐵入りが眞相
專任外、拓、兩相を繞る策動急 …… (二五)

一、政界異変「新党運動」 ‖ 既成政党對新党の二分野生ぜん
國民同盟、社大も新党に合流か …… (二六)

一、對支院總務長官 ‖ 十河、武部兩氏有力 …… (二七)

一、日本農村革新協議会 ‖
會長は後藤文夫氏か …… (六)

一、建川中將、小林順一郎氏が中心で ‖ 右翼を母体とする
時事懇談會、新党運動で救国派に對抗せん …… (九)

一、台湾にも志願兵制度 ‖
日本國民としての熱誠披瀝に …… (三〇)

一、「拳國党」「護華」「東亞國策」 ‖
新党樹立運動熾烈、政党法制定の氣運動く …… (二一)

一、北支經濟最高顧問に ‖ 三土忠造(政)有力か
渡支後の成行注目さる …… (三三)

一、日本油脂近く增資斷行 ‖ 南支の石鹸制覇完成
軍需関係でも注目さる …… (三二)

一、外務大臣專任詮衡難事情 …… (三五)

一、東大總辭職に痛痒を感せず ‖ 荒木案に文部省強硬態度
愛國團体東大の態度に憤激 …… (三五)

一、遷延する外相專任問題 ‖
下馬評 秋山、松岡、齋藤三氏有力 …… (三七)

一、宮邸新党の樹立は不可能 ‖ 一部閣係の策動説に不満相頻
近衛首相は總裁の意志なし …… (三七)

一、滿鐵總裁の後任問題 ‖ 下馬評には八田、安川、建川の諸氏
社與團の推す大村卓一氏が最有力 …… (三九)

一、新党運動の餘波 ‖ 結局政、民兩党合同せん
總裁に南、小磯兩大將說 …… (四〇)

一、國際聯盟賞二百萬圓は ‖ 明年度繰算より送金中止
外務省の親英外交清算か …… (四一)

一、「農革」の新党運動を危し
産組全國大會で政治運動に反對 …… (四二)

一、新党問題愈々政治問題たらん ‖ 政党、末次、木戸、鹽野三相
に惡感情、八田氏の入閣は緩衝地帶か …… (四三)

一、政友会總裁問題再抬頭 ‖ 三十一日代行委員会合す

中閣派絶對有力となる ……（四）

一、東拓總裁愈々十二月辭任か ‖ 後任は拓相の關係で

遠藤氏有力 ……（五）

一、新党運動の發展と政党 ‖ 議會を政府・政党の對立か

成行必ずしも樂觀を許さず ……（六）

‖ 内閣強化工作の二見解 ‖

小磯、松岡兩氏入閣説と

風見、灘両氏の起用説

宇垣外相辭任の教訓は、大物吸合必ずしも内閣強化に非ず、寧ろ政党内閣の如くブレントラストの結合が假令人的要素は世上の噂丈を博さなくても、実際的には強力な意志表明となり、実際政治の遂行に可能性が多いと言ふ説が近衛公周圍の間に起りつゝあるが、宇垣外相辭任による近衛内閣の現状には、國民均しく秋風落莫を感じ、何等か方法で補強工作をなすべき期待を持つてゐる様である。この際に於て小磯大將、松岡洋右氏を擁する一派では両氏の入閣説を放送してその実現可能が可なり有力に傳はつて来てゐるが、前記の如き見解から、近衛公周圍では閣内強化にはブレントラスト吸合を以て最上策となす意見が抬頭して、灘、風見両氏の入閣を首相に進言してゐる様であるが、これに對して近衛公が如何なる措置に出るが興味ある問題とされてゐる。

宇垣氏の辭任は現内閣に桐一葉

宇垣氏の辭任は現内閣に取つて桐一葉の感があり、近衛公の桂冠を夢想する向もあるが、前途に漢口攻略、對支院問題等寸時も忽せに出來ざる難局に當り、政友は禁物で近衛公は好むと好まざるとに不拘この難局を擔當し進んで臣節を全ふすべきであると言ふ意見が抬頭して、このために有力な外廓的擁護機關が必要であるとの言ひ説をなし、先般民政黨の町田一派、政友會の鳩山一派の反對により實現不可能となつた擧國黨の動きが益〻再燃するに至り、當時の主唱者であつた秋山、小川、秋田、久原氏等に熱心なる勸説をなすものあり、現に政友會の内部に於て新黨「擧國黨」の結成に努力しつゝあつた防共護國團の中島多摩吉氏等はこの運動のため少死の活躍を初めたと言ふが、このため政友會内の中島一派、民政黨内の櫻内一派の去就が注目されてゐる。

政局の發展に伴ふ
南方懇談會の活躍

南進を叫び政治的に注目さる

支那事變も漢口攻落の戰局をめぐつて諸外國に與へる反響は頗る甚大であると想さるるが北支より中支方面に亘つて漸次南方々面に擴大されつゝある今日、重要發生以來南進論を主張する南方懇談會は去る二十六日井上子、望月圭介、小池四郎氏等二十餘名が出席し第三回會合を行つた、其れと相前後して台北支に於ても總督關係より成る南方懇談會支部第一回會合が行はれた、今後國策の進展と共に南方政策は當然當面の重要問題となることは明かであり、此の南方懇談會の今後の活躍は頗る注目されてゐる。

人心安定のため闇像補充運動

塩野、木戸、板垣各相動く

宇垣大將の外相辞任により、近衛内閣も末期近しと見えたが近頃頻りに新聞紙に報道されてゐる外相後任の下馬評を見て近衛首相は餘り益時局を擔當するものとなし人心は全く安定した模様であるが、これを裏書する如き動きが近頃散見されゐる。即ち拓務大臣後任運動がそれで、堀野法相秘書官矢萩氏は目下法相の拓相兼攝について動いてゐるが、何故法相が拓相を兼攝しなければならぬか、その目的根據は鮮かでないが、平沼男擁立の一派が第二段の策として萬一を豫想する政治運動ではないかと見る向もある。一方には目的を異にした單なる近衛内閣強化の意味で速かに外相と共に拓相の專任をなし人心を安定せしめ、擧國戰爭目的達成のため邁進すべきであると言ふ意見から、木戸厚相、板垣陸相が之を首相に進言してゐる模様であるが、目下この線上に浮び上つてゐる候補者は小磯國昭、松岡洋右、小林躋造氏等である。

‖ 專任外相問題愈々表面化 ‖
結局白鳥大使の就任實現か
有田、松岡、齋藤は難色あり

宇垣外相の辭表提出により近衛首相は三相兼任の大役をなして居るが、然し首相の健康問題から考へて當然外相、拓相の補充をなさなければならない狀態であるので此の問題に於ては自薦他薦運動が猛烈に行はれてゐるが目下外相の噂に上つてゐる人は齋藤駐米大使であるがこれは實際問題として不可能な立場にあり直ちに外相就任は出來ないものとされ此同氏の外相は一部の運動に終るものと見られてゐる。松岡洋右氏は滿鐵、參議の地位にあり有力候補の一人であるが、然し同氏に對しては外務省内では擧げて反對をなしてゐるので假令就任しても省内の統一を圖る事は困難であり此の點難色がある。有田、齋藤兩氏は宇垣外相の責任を有する關係上全く遠ざかつて居る。問題は重光大使及び白鳥大使であるがこの兩氏は全く反對的立場より擧されてゐる關係上何れになるか五里霧中である由の

の重光派では廣田外相・宇垣外相を送り全く失敗してゐる點より、一部では強硬に反対してゐるので非常に不利な點に置れてゐる關係上白鳥大使が色々な意味に於て有力であると傳へられて居る。

‖ 外務省次官以下首脳部 ‖

近く愈々大異動行はれん
革新派の抬頭注目さる

宇垣外相の辞任に伴ふ外相專任問題は齋藤大使の拒絶によつて遂に當分首相の兼任する所となつたが、然し首相兼任の場合は當然事務次官更迭問題が起り愈々この二、三日中に次官以下外務省局長級に大異動が發表される模様である。目下大次官制説が傳へられて居るが省内の革新派は相當根強きものがあり近衛兼任相も悩んで居ると傳へられて居る。結局この成行は省内を牛耳つて居る革新派の意向によらざる次官を始め人事は出來ない狀態にあり、外務省内の現狀維持か革新かの重大なる時にあり人事成行は頗る注目されるものがある。

‖ 新設對支委員會の構成 ‖

各層より人材を網羅せん

最高顧問は陸、海、津田両中將か

幾多の曲折を經た對支中央機關對支院は愈々設置の決定を見たが、政治、經濟、文化の三部門の實質的支配權は五相會議の外に新に設置を見る對支委員會が掌握するものと見られてゐる。而して對支委員會の構成は大体學者、政治家、實業家、軍人等各層の人材を網羅するものと言はれ、その銓衡は極めて廣汎に亘ると見られてゐる。その第一條件は支那に對する正しい認識であるが、地位、名聲は第二義的に考慮される模様で、その數は各部門を通ずれば四五十名となる模様である、これは當て近衛首相が企圖しかけた各層を叫合の諮問機關「政治局」の着想を引用するものであると言はれてゐる。而して政治部には總裁、副總裁に次ぐ最高顧問を置く模様

であるがこれの候補者としては阪西利八郎、津田静枝陸海軍両中将が噂に上つてゐる。

‖ 宇垣大将は何處へ行く ‖

残存宇垣宗の政治的更生策
実践經濟政策樹立に邁進か

宇垣大将には、政界、財界その他に多数のファンがあり、今回の外相辞任は政權に遠ざかるものとしてこれら後援者を少なからず落膽させたものであるが、この結果宇垣宗に大動揺を與へ極く少数の凝り塊りの信者が残るのみで、他は南、小磯等に宗旨替するものと見られてゐる。併し飽く迄宇垣大将を全幅的に信頼してゐる不動のファンが宇垣大将の政治的生命の更生策を講ずるとすれば、戰時下最も難解されてゐる經濟政策を、最も時宜に適した漸進的革進主義で直ちに実践出来る具体策考究案に向つて進むであらうと見られてゐるが、これは特に貧困を訴へられてゐる政策支持に歓迎されるもので、これが池田政策と衝突するか、提携し得るかに依つて今後の政局が動く事になると見られてゐる。從つて宇垣大将に未練ある政界、財界のファンは宇垣大将が好むと好まざるとに拘、この方針を進言するものと見られてゐるが宇垣大将今後の動向は興味を以て注視される。

‖ 戰動員法右翼にも反對氣配 ‖

今事変に適用せぬ首相の答辯
財界は全面的に發動反對意向

漢口攻略後の諸情勢に備へるため、國家總動員法の全面的發動が各方面から期待されてゐるが、これは先般実施を見た經濟警察の例にて、抵抗少き方面丈には徹底し上層財閥に遠慮せぬ感もあるので、之を是正する意味に於て總動員法の發動が要望されてゐるのであるが之とても經濟警察制度の擧を繰返すものと見て右翼方面でも反對運動を起してゐる模様であり、又一方には前議會に於て今次事変には全面

的發動をなさむとの首相の答辯を　に反對する一派があるため政府も之に對しては頗る愼重の態度を持してゐる模樣である。

═ 澎湃たる全体主義の息吹 ═

經濟、政治、勞動各團体の官制化（其一）

一、商工會議所

門野重九郎氏の會頭辭任の後を受けて前商工大臣伍堂卓雄氏が會頭を受諾する事になつた結果、商工會議所の機構改革が表面化するものと見られてゐる。これは時代の要求と共に當然行はるべき事で、現狀維持派でさえ社會情勢の推移に從つて機構の改革を首肯する傾向になつて來てゐるのである。特に會議所は産組の異常な發展の結果、追詰められてゐる中商工業者の謝策を積極的に講ぜねばならぬ立場にあり、永い間、人的要素の上から見れば上層部は大資本家の代表であり中堅以下は中商工業者の味方である結果大資本閥の經營によるデバートの擁護派と、産組、デパートに攻撃を受けてゐる中商工業者の間に相剋があり、この結果理事の渡邊鐵藏、木村增太郎の兩博士は辭任の止むなきに至つたのであるが、現今の經濟思想は全体主義の影響を受けて、「私益より公益へ」と言ふ傾向が顯著となりつつあるが伍堂新會頭が莫大な大資本閥を如何にリードし、之が機構改革を如何になすかは異常な興味を以て見られてゐるが、併しこれは極めて難解な問題であつて、結局官制化を俟つより外ないと見る向きが多い。

二　日本經濟團体聯盟

この團体聯盟は工業倶樂部を中心とした強力最高の經濟團体聯盟で勿論資本家群の集合であるが、茲にも時代の波は押寄せて上層部と中堅以下の相剋が絶えないのであるが、今やこの團体の趣旨である護善協力と言ふ精神は拔却されてゐるため解散すべしと叫ぶ者もあり又はされてゐる位であるが、一方統制主義に對應して機構の改革を説へるものあり、從つて今では時代に取り殘さぬ樣全体主義的な經濟思想に順應すべきであると言ふ雰圍氣が濃厚になつて來たが、併し實際問題である技術

的工作に移るとすれば大なる障害を豫想しなければならぬので、政府の……
從つて茲にも官制化の必要が叫ばれてゐる様である。

‖ 白鳥大使、外相就任は時期の問題 ‖

澤田次官以下首脳部の異動は
結局白鳥人事で革新派の抬頭

宇垣前外相の辭任によつて後任問題は俄然重視されて居るが松岡、有田、齋藤、重光、白鳥の五氏が下馬評に上つたものゝ結局各人事情があり首相の當分兼任となり一時解決を見たが議會を目前に控へて何れ專任外相を置く方針であるが、外務省内の話事情は要するに革新派對現狀派の實證であり、今回の結果を見た事は次官以下首脳部の異動は相談を受けた白鳥人事と見て間違ひなく、現在までの經過は革新派の勝利となつたのである。此の如き見地よりして白鳥大使の外相就任は時日の問題となり議會前に斷行される模様である。一部方面に反對はあるものゝ實際問題として外相に就任せんとするものは白鳥大使以外になく、同氏の政界進出は極めて各方面から注目されてゐる。

‖ 神兵隊關係者の活躍

右翼陣營を中心とする
今後の政局に重大影響

滿洲事變後我が政局に與へたものは五、一五事件、血盟團事件、神兵隊事件、二二六事件と昭和維新斷行樞軸運動が右翼、軍部兩方面に抬頭し今日の如く政党の無氣力となり現狀維持政の退歩と反對に革新陣營の急速なる發展となつた、右事件の中に神兵隊事件に關して兎角の風説が傳へられて居るが目下裁判所に於て審理中であるが、現在この神兵隊關係者の活躍は聖戰を通つて右翼陣營内に強力なるものがあり、最近又神兵隊の動向は頗る注目されるものがある。即ち神兵隊の殘党は各派に別れ言論機關に於ては東亞日日新聞、千代田通信、大陸移民、維新公論を中心

又團体には時局協議會に前田虎雄氏を送りし外
天野辰夫、本間憲一郎氏の中心人物をリードし、生産党、純生日本全國協議會に多
數を送り、純神兵隊關係者は聖戰貫徹同盟を結成し積極的に乘出して居り目下右翼
方面に於ては其の中堅を牛耳つて居る關係より殆んど關係者が重要な役割をなして
居るので護神兵隊の同志の動向は相當注視されるものがある。

澎湃たる全体主義の息吹

經濟、政治、勞働各團体の官制化（其三）

三、産業報國聯盟

戰時及戰後の重要對策として勞資關係の調整は最も緊要なるものとし官民協力の
下に結成された産業報國聯盟は協調會を本部として全國的に活動を開始してゐるが
この報國聯盟の任務は全産業人に對し産業報國の精神を普及徹底すると共に眞に
の精神を具現すべき組織を整備し、所謂産業道の確立を期するにあるが、勞資關係

の調整は利害の相反する立場より勞働者と資本家とは渾然融和の實を發揮するには
容易でないので、最近右報國聯盟の官制化が要望されてゐる。
制化の目標は

一、日本的勤労者の保護
一、勤労者の政治問題對策
一、勤労者の新生活運動
一、同教育運動の徹底

等であるが、これは官制案の出來上り次第衆議會に提案の模様で、これと併行して
全日本産業勞働會議（中央機關）の開設が要望されてゐる。而して官制化の目標は
左の點を防止するにあると言はれてゐる。

一、事業主個人の都合に依つて左右される惡質御用組合となる危險
一、職業的勞働運動の指導者に利用される思想的危險

四、勞働組合の公認問題

今次重要な契機として戦時及戦後の労働新秩序樹立についても厚生省は鋭意研究中であるが、その目標とする処は思想対策にある。欧洲戦争の例に見るも、コミンテルンの政策は戦当初は挙国一致の体制に融合して巧に仮面を被り産業報国に協力する如く見せかけ、漸次国民の物心両方面の疲弊に乗じて毒牙をあらはし、獨逸の如きはその首都ベルリンに一発の小銃弾も見舞はれることなく敗戦国となつた体験に鑑み思想国防の立場から将来は労働組合の思想的単一化を図るべく労働組合を官制化せんと計画してゐるが、これについては内務省も協力する模様で左翼系統の労働組合の処置が問題となつてゐるが、未次内相は之に対し断乎解散を命ずるものと見られてゐる。

八　宣傳省の設置革新陣営で要望

長期戦に伴ふ挙国一致翼賛並に国民精神運動負担書のもとに着々進められてゐるが実際に長期戦となり、三、四年と續く場合には特に警戒すべき点は国民の思想問題であるが革新陣営方面では宣傳省の設置による国内、対満対支を始め東洋民族に向つて亜細亜思想の普及に努力すべきであると宣傳省の設置要望は戦が長期となるに伴つて漸次高まる傾向にある。

＝専任拓相は兒玉伯か＝
電力、貴革の論功行賞
小林大将は満米問題で不能

元拓相兒玉秀雄伯は前議會に於て、前拓相大谷尊由氏と共に電力案通過に奔走して居り、今回も貴族院改革問題について、貴族院各派を個別的に訪問して、大体諒解を得た模様であるが、これは近衛公平来の主張である処の近衛公問題で蹉跌に帰が遂行に努力した模様であるが、現兒玉伯の奔走によつて七十四議會に提出の運びとなり通過の暁想がついたについて、これが論功行賞の意味で閣僚の椅子を與へては如何と言ふ議が閣内に起つて来た。兒玉伯には拓務大臣が適

任であると言ふ處から、拓相は他の閣僚の兼任説は薄くなり、適任者さへあれば兼任拓相を置く事を首相は言明した模様であるから或は「兒玉拓相」の実現は可能性があると見られ、これには塩野法相一派が真剣に動いてみる模様である。尚拓務省は大陸移民許りでなく南進政策にも積極的に手を染めねばならぬ立場から小林路相氏説があるが、目下台湾米の問題と、後任には海軍部から求めねばならぬ等の事情から依然として児玉説が有力である。

‖ 擧國党の運動方針改変 ‖

松岡氏の上京を契機に活動
國民外交、大陸政策に協力

秋山、小川、久原、秋田氏等によつて畫策された擧國党の動きは近衛公が党首として出馬せざるため、政民両党、愛國勞働党等の少壯層が之に應じて動いたにも不拘遂に実現するに至らず、その間宇垣外相の辞任問題等で、一時は全然導さへも消えたかに見えたが、松岡洋右氏の上京と共に、擧國党が擧國一致体制強化の建前から指導階級の運動負を計畫したのを、尚一層積極的に國民外交の実を擧げるべく今後の運動方針を改変して近衛兼任外相を絶對支持應援して現内閣の強化を圖り戰爭目的達成に努力せんとする模様であるが之は新党樹立派は勿論各方面から期待がかけられてゐる。

‖ 議員制度の改革見透し付く ‖

貴族院案の通過確実か
結局議員数の減少とならん

近衛首相の改革議題中最も其の力を注いでみるものは貴衆両議員制度の改革、文官任用令の改正等であり文官任用令の問題に関しては船田法制局長官、瀧企畫院總裁間に於て研究され、成案を得たものゝ樞密院に反對され、いまだに実現されず、同件は再出發を餘儀なくされたが議員制度改革案は目下委員會で着々進められて居

り、衆議員は未議會大選挙區制程度と見られるが貴族院は傳へられる如くた世論
其の廢止、多額議員の縮少の代り勅選議員の擴大等であるが大体に於て議員数は少
くなる模様である。此の案の見透しが既く迄には大谷前拓相並びに児玉個が相當努
力した模様である。

＝「挙國党」愈々有望か＝

政党出身閣僚參議の中心話題

近衛公の党首に出馬可能性あり

近衛首相と政党出身閣僚、參議の會合は宇垣外相辞任後にも屢々繰返され、世上
の注目を引いて居るが、その内容は傳へられる處によると　新党「挙國党」の問題
に觸れてゐると言はれてゐる。即ち宇垣外相辞任後、現内閣の弱体性を糊塗するた
めには外廓的に強力な庇護機関が必要でこのためには「挙國党」の党首として近衛
公の出馬が慫慂された模様で、近衛公も客観的情勢からやゝ意が動いたと言はれて
ゐる。之に對し民政党町田總裁も先輩から引継いだ導き傳統ある民政党を明け渡す事は
は、主観客観共に萬止むを得ない情勢に立ち到つた場合のみであると、從来の新党
否定主義から一歩前進、歩み寄つた形であり、櫻内、大麻氏等は挙國党の動きに興
味を持つて居るやうであり、政友會も東亜國策研究會を中心として挙國党の動きに
は好意を以て迎へてゐる様であり挙國党の動きを見て、この船に乗り後れば既成
政党は永久に取り残されるものと見る向も多い為近衛公今後の動き如何に依つては
急速に新党が生れるものと見てゐる。

＝言論機関の統制愈々実施か＝

五、一五、二、二六兩事件以来言論機関統制は軍部を始め政界一部より要望され
て来たが今回の支那事変當初から長期戦を覚悟し国内諸機構の改革に伴ふ言論機関
統制は愈々其の必要に迫られ総動員法中にも含まれて居るが、然しそれも徹底した

ものでないので企劃院に於て言論機関問題に就いて別個に研究されて居るが、既に同問題に関しての原案は出来て居り、其の適用は時期の問題となつて居るのである特に最近に至つては保證金無シの研究雑誌に弾圧を加へ又新聞記者倶楽部にも弾圧を加へつゝある事により明かである。又小新聞、通信社にも色々な意味に於て統制に邁進しつゝあるが、企劃院原案の主なるものは一、紙の統制による大新聞の改革、二、小新聞、通信記者の國家試験　六、新聞雑誌の許可制等であるが此の実施は急激断行を控へ漸次適用の方針であるが相当反対もあり成行は注目されて居る。

＝拓務省南進政策に乗り出す＝

拓省専任問題抬頭の所以

拓務省では大陸植民の問題が大体見透しが付いたので、愈々南進政策に乗り出すべく、目下事務官を派遣して実施に調査してあるが、この結果十一月末には對南政策を樹立、従来の對南親善融和工作を更に一歩前進せしめて経済工作に乗り出すこととなつた。この結果南洋の資源開發事業貿易等にも具体案を作成するものとみられてゐる。このために最近は愈々拓務大臣の専任問題が抬頭して下馬評には児玉秀雄伯、井上匡四郎氏、小林跡造大将等上つてゐる譯であるが、既報の如く児玉秀雄伯が有力である。

＝青年團組織の改革と＝

思想、政治的教育の徹底を

革新陣営方面で極力要望

今回の支那事変に伴つて所謂革新派の抬頭となり、革新政策の遂行が各方面に唱へられ、先づ第一に國内の改造が先決問題となり漸次進行されつゝあるが、此の事変後に對処する意味で此の重大なる宿題を課せられたものは青年で、この青年をいかに指導し教育するかが重大問題である今日、大日本青年團聯盟では当る九日、十

六日全國大會を開催したが依然として從來の區域を脫して居らず、青年團組織改革
思想の徹底が最近各方面に要望されてゐる。即ち歐洲大戰後、躍進途上にあるド
ツ又はイタリーは主として青年教育の徹底を期して居るが又我國の青年團に對して
は政治的教育を絶對に排撃して居り、此のため青年思想の徹底を期す事が出來ず又
政治的進出の基礎を作る事が出來なかつた事實より見て我が國の青年團に政治的教
育をなすべきであるとの要望が革新陣營方面に急速に擡頭して來た事は今後の青年
層に於ける運動は注目されるものがある。例へばヒツトラ、ユーデントの如く對力
なる活躍をなすものと見られてゐる。

新党樹立氣運濃厚

今次事変新段階對應のため

去る十日霞山會館に近衛首相の招待を受けた木戸厚相、松岡洋右、秋山定輔、亜
井貢一郎、宮崎龍介、山本電次郎、佐々木一晶、中澤弥吉の諸氏は近衛公退席後
漢口攻略後の事態に對應すべく種々協議をなした模様であるが、結局新党を樹立し
て現内閣を外郭的に強化し今事変の新段階に備へることの急務なる事に意見の一致
を見た模様であるが、一方政党方面でも新國民運動を起さんとする形勢にあるので
この趨勢は結局新党樹立の氣運が濃厚になつた證左であると見る向が多い。

松岡總裁の外相就任運動は

建川中將の滿鐵入りが眞相

專任外相両様を繞る策動急

宇垣外相が辭表を提出した事は現内閣一部には勿論、政界各方面に多大な影響を與へ
た處海軍に伴ふ後任問題は更に重大視されるに至つたのである。外相後任として一
部より要望されてゐた松岡総裁に對して要望してゐた一派は松岡滿鐵總裁を外相と
なし、寧ろ松岡総裁は別問題として、滿鐵總裁に建川中將を就任せんとしたものであ
ると最近政界方面に傳へられてゐる。之がため建川中將を支持する一派は松岡滿鐵

總裁を專任外相にせんとなし松岡外相運動をなしたものであると言はれてゐるが、
果して事実なりや否や其の眞相は明らかでないものゝ專任外相、拓相問題をめぐつて政界各方面に色々策動をなしてゐる事実があり首相もこの種の策動には相當惱んでゐると言はれてゐる。

＝政界異変「新党運動」＝

就成政党對新党の二分野生れん

國民同盟、社大も新党に合流か

漢口攻略、南支作戰、議會切迫と共に政界各方面では漸く動き出した模様であるが、有馬、風見両氏の主宰する日本農村革新協議會は愈々來る廿九、三十、三十一日の三日間に亘り結成大會を三會堂に於て開催する事に決定したが、これと呼應する如く、十日の霞山會館參集組の秋山、秋田、松岡、小川の諸氏も愈々新党樹立に奔走するものゝ如く、一方國民同盟も新党樹立の可能性を見極めれば解党してと

參加する模様である。之に對し政民両党では、かねて計畫中の守垣氏擁立による政局對策は守垣外相辭任の結果挫折するに至り、擧國党の動きに對しては政党を超越して何事が出來るかと、白眼視してゐた関係から、新党樹立派と既成政党主流派とは感情的に對立する状態となり政民両党の國民運動は全く新党樹立の牽制運動と見る向きが多い。之に對し國民同盟、社大党等は解党して新党に參加すると見られてゐるから、茲に政界は就成政党對新党の二大勢力を生ずる事になるが此間政友會には中橋多摩吉氏の護國党の動きがあり、民政党には三木武吉氏の新党運動があるので、之が政民両党の自滅作用としてどの程度の働きをなすかは疑問とされてゐるが、時代の息吹として現はれた新党運動は目今政界での興味ある話題とされてゐる。

＝對支院總務長官＝

十河、武部両氏有力

對支院總務長官の人選は是非共来る廿一日に成立を見る北支、中支両會社の創立
總會前迄に行はねばならぬので目下その鋭意を急きつゝあるが、現地内務畑の湯沢
三千男、甲川三郎、斉藤樹氏等は極力武部大藏氏を押してゐるに對し板垣陸相等軍
首脳方面では興中公司社長十河信二氏を推してゐる模様であるが、樞密院議長、
樞府外、藏、陸海各相の下にあつて実際事務を管掌する重要人事だけに頗る慎重な
態度を持してゐるが、陸相は十河氏とは從来の関係から許りでなく且つ、中支両會社
をその支配下に置く関係で、現地開發に經濟的手腕を有する意味から十河
氏を最適任と認めてゐるらしいから、目下の處十河氏が有力である。何れにせよ極
く最近の機會に於て總務長官の決定を見る模様である。

‖ 日本農村革新協議會 ‖

會長は後藤文夫氏か

日本農村革新協議會は農村の革新分子より成る新政党結成の準備會であつたが愈
愈本月末の結成大會に於て新政党の命名と會長其他細則が決定される模様であるが
會長には後藤文夫氏が有力である。これは有馬、風見両氏が要職にあるためもしろ
其選であり農村と聯絡を図る事が妥當であるとする意見が強く、同氏
も亦政界更生の唯一の機會として會長就任を承諾するものと見られてゐる。

‖ 建川中将、小林順一郎氏が中心で ‖

時事懇談會右翼を母体とする
新党運動起し秋田派に對抗せん

愈々政治舞臺となり政局は新党運動で相當複雑な場面を展開して居るが、此の中
心が今日迄傳へられてゐる處によれば秋山定輔、秋田清、宮崎龍介、鳥井、麻生氏
等を中心としたものであるが、最近右翼陣営を中心とする新党運動が秘かに行はれ
てゐる事は秋田一派の新党運動に多大な影響を與へるものと注視されてゐる。即ち
建川中将、小林大佐(順一)を中心とするもので、近衛首相の支持團体である時事懇

談會を毋体となし、其の他同氏等を中心とする右翼團体、農村組合を勢力下に收山
秋田氏等の新党運動はその贊成分子が左翼関係者であり全く其の新党趣旨に反する
ものである。かゝる新党運動は時局を利用する左翼陣営の擾乱を目指すものに外な
らないと言ふ見地より反對すると同時に別派新党樹立運動をなしてゐる模様で此の
両新党の動きは次期政局に影響するものと見られ注目されてゐる

‖台湾にも志願兵制度‖

熱心なる島民の要望

日本國民としての熱誠披瀝に

朝鮮總督管内に於ける志願兵制度の実施は我は日本人なりと言ふ矜持と半島人に
持たせ前進兵站基地として銃後の守りを確立し、擧國一致の体制に參加協力すると
言ふ意味で朝鮮統治上適宜の處置として好評であるが、台湾本島人も日本人として
義務を果すと言ふ感激にひたり挙く朝鮮の徴兵制度に匹滴しこれが実施を要望し
てゐる様である。朝鮮では現在人口二千萬に對し二百人の志願兵を採用してゐる關
係から推せば、台湾は人口五百萬餘であるから、數から言へば僅々五十人餘りに過
ぎまいがこれが台湾統治の上に及ぼす精神的な影響は甚大で特に事変下、日本國民
としての熱誠を披瀝したくこの要望は強い模様である。

‖「擧國党」、「農革」、「東亜國策」‖

新党樹立運動猖烈

政党法制定の機運動く

新党問題はその後、麻生久、亀井貫一郎氏等の必死の奔走で、結局社山氏等の出
馬は必至と見られ、廿、廿一両日の社大党大会はこれを前提として解散が強要され
國民同盟も解散の機を孕つて居ると言はれ、少く共小會派の合同は可能とされてな
るが、東亜國策研究會も、最近大陸経営の政治、経済、文化各般に亘る意見書を發
表亜細亜聯盟結成に向つて奔命中であるが、これは新党樹立の旗印と見られてゐる

又此外政民両党内の革新分子の合流程度如何によつては、近衛公も出馬の意動くものと見られ、日本革新農村協議會の動きと共に注目されてゐる。この結果政局の主導である政党の官制化、即ち政党法の制定の氣運もある様である。

‖ 北支經濟最高顧問に ‖

三土忠造（政）有力か

渡支後の成行注目さる

支那事変後の戰後復活經営の重大視されてより北支派遣軍經濟最高顧問となつた平生前文相は經濟顧問として將來期待されてゐたが、就任以来健康勝れず辭任説が傳へられて居た。又平生氏は支那通に非ずとの聲が政界各方面に抬頭するに至り愈〻辭任の決意をなしたことによつて其の後任問題の成行は極めて注目されて来た處最近三土忠造氏の經濟顧問説が有力視されてゐるが。同氏は近く二十五、六日頃支那に向け出發する事になつて居ることに基因すると思はれるが　若し三土氏の今回の渡支は同氏は經濟通であるから、かゝる説が抬頭してゐる模様であるが何れにしても三土氏の渡支は注目すべきものがあり、同氏の歸京後に於ける行動は何れの説もある處から重視される。

‖ 日本油脂近く増資斷行 ‖

南支の石鹸制覇完成

軍需関係でも注目さる

「日本油脂」ではかねて大陸進出計畫を樹てゝゐたが、その前提として喜多後上海の五洲固石鹸工場の委任經営をなしてゐたが、今回愈々上海に散在する四十三四社の石鹸工場を全部買收することになり、四五日中に持田專務が渡支する事になつたがこの結果南支の石鹸制覇が完成するものと見られてゐる。一方爆藥の関係から軍需関係でも注目さゝれてゐる模様で、近く増資は必至と見られてゐる。

‖ 新党運動の發展と政党 ‖

議會で政府、政党の對立か
成行必ずしも樂觀を許さず

政治期節となつて新党運動も愈々本格的に現はれて来、政府内の末次内相、木戸厚相、有馬農相、堀野法相、風見書記官長等は秋山定輔氏を中心に社大、衆方會、國同、革新倶樂部等を合同せしめ擧國党對立運動をなしつゝあるが、一方政民両党は依然として未だ新党には未だ関心を有してゐない模様であるが、右運動が行はれて以来実際問題として政民両党は除外された形にあり感情的に不満を有し對立的立場にあるので議會前に新党運動が更に一段と進展する場合は来議會に於て政民両党は提携の下に政府に對して相當強硬的態度に出る模様であり、政府も実際的に攻撃材料を取られてゐる點からして政民両党が反撃的行動に出る場合は必ずしも樂觀を許されない狀態にあり、新党運動發展と伴に政党を刺戟する結果となり注視されてゐる。

◎ 外務大臣專任詮衡難事情

外務大臣專任發表の時期はおそくとも今月末と見られてゐるが、此間自薦他薦の運動があり、その決定には益々難航を来してゐる模様である。然るに財界方面では占領地區の金融統制、我國の飛躍的發展のためには貿易振興等の問題が重大視されて来るが、これには外務大臣は部外から、特に經濟通を起用すべしと言ふ議が起つてゐるが、一方現地方面では軍政權芳後を遂斷し得る強力革新意見の所有者か、文那要人の信頼厚き帝徳の士を起用すべしと言ふ議があり、而して候補者自薦大使は来月十日頃任地出發に決定、松岡氏には某方面に難色あり相當曲折を經るものと見られてゐる。

‖ 東大の總辭職に痛痒を感ぜず ‖

荒木案に文部當強硬態度
愛國團体東大の態度に憤激

大學改革問題に對し天皇機関説排撃派の各愛國團体は荒木文相の手腕を信じ今日迄成行を靜視してゐたが、文部當局に對する東大の無反省なる最後的回答に對し、今朝以來極度に憤激、青年有志の中には東大幹部に對し不穩なる行動にさえ出でんとする形勢にあるに對し、建川中將、小林順一郎大佐等は之の際不穩なる行動に出づれば理に勝つて非に負ける結果となるから、今しばらく荒木文相を信して成行を靜觀する様慰撫につとめてゐる。一方貴族院公正會の大井成元、井上孚麿、井田磐楠、三室戸敬光諸氏は勿論、昨日は本庄繁大將、柳川平助中將は文相を訪問、文相を激励し、何處迄も荒木案の斷行を要望した又文部省側は既に五大學が大体荒木案に歩み寄つてゐるので、東大が飽く迄自説を主張し、總長以下總辭職を敢行しても之に對抗するとしても、荒木案斷行の決意は捨てぬ模様で、文部省が東大の回答却下を通告し、反省を求めその受取方を要望したるに、東大は之を受取らずために速達便を以つて返送し強硬態度に出でゐる。

‖ 遲延する外相專任問題 ‖

近衛公兼任で顧問陣強化説

下馬評秋山、松岡、斎藤三氏有力

外務大臣の專任問題は戰局の進展と共に急速に解決の必要があり、近衛公は之について苦慮してゐる模様であるが、外相候補の下馬評には野村吉三郎・竹下勇両大將、松岡洋右、白鳥敏夫氏等が擧げられてゐるが、支那經濟的再建のためには平生釼三郎氏が適任であると言ふ説もあらはれてゐるが、結局專任を避かず顧問に有力な人物を配して近衛公を補佐するが妥當であると言ふ説が有力になつて来た。顧問の候補者には秋山定輔、松岡洋右、斎藤博氏等が擧げられてゐる。

‖ 官製新党の樹立は不可能 ‖

一部閣僚の策動説に不満格頭

近衛首相は總裁の意志ない

政治季節となつて新党運動は愈々表面化されるに至つたが、果して新党が樹立さるるや否や頗る疑問な点があり政界通の見解は絶對に樹立されずとの斷定をなして居る。即ち秋山定輔氏を中心として行はれてゐる運動は決して新党運動に非ず要するに其の目的は國民精神總動員中央聯盟が全く無能なるために聖戰の根本精神が國民に徹底せずしてゐることから國家總動員の徹底を期す見地より國民再組織をなし挙國一致体制の確立を必要とする建前より指導階級の總動員となさんとするものであり政党を解消し又は新党を結成せんとするが如き考へは毛頭なくこの秋山一派の運動に對して、新党説は之を利用し首相を總裁とする新党を樹立せんとする一派の策動である。首相の出馬せんとすることは國民運動の總裁であつて新党總裁では無いことを昨日の貴族院の會合の際某氏の質問に際して明らかに答へてゐる處であり閣内に於て新党運動を要望してゐると傳へられてゐる説に對して政界一部に於ては閣僚にあるまじき行為であるとなして不満を有してゐる向もある。又、近衛公の新党に對する眞意は、既成政党は勿論革新陣営、愛國陣営、財閥、新旧官僚、軍人、

然産党等あらゆる階級を網羅した眞の挙國一党となる準備が確実に出来れば党首として出馬したき意圖があるらしい、然し既成政党と愛國陣営、無産陣営、財閥が一党の中に收まることは実際問題として到底不可能な事で、この點から官製新党の実現は覺束ないと見られてゐる。

═ 満鐵總裁の後任問題 ═

下馬評には八田、安川、建川諸氏、社員會の推す大村卓一氏等が最有力

松岡満鐵總裁の辭職せんとする理由は、

一、満鐵改革後一段落ついた事、
一、政治運動に專念したき事
一、資金關係で財界と接觸悪き事
一、各方面から後任の下馬評ある事

等であるが、実際證券界では總裁に八田嘉明、安川第五郎氏等の如く財界に好意を持たれてゐる人物が就任すれば株價は優に八十圓を突破するであらうと言はれてゐる、此點から八田、安川兩氏は財界から總裁に待望されてゐるが、滿鐵社員會は結束して副總裁大村卓一を推してゐるが大村氏の昇格説が今の處では有力である。

═ 新党運動の餘波 ═

結局政民兩党合同せん

總裁に南、小磯兩大將説

廣東陷落後、漢口攻略も目睫に迫り、現地の再建工作に移らねばならぬが、それには國内整備が急務であるとなし、種々の政治運動が起り、ために新党問題はあらゆる話題を提供してゐる。これに對抗して政民兩党では兩党の緊密なる提携により新党運動を牽制し政党再興を考へつゝあると言はれてゐる。即ちこれによって民政党町田、政友會鳩山兩派は党内の總裁問題を一擧に解決せしめ、しかも新党運動を封じ政党の再建を圖る一石二鳥の最善の方法たらしめんとしてゐるが、この五郎は新党運動の動き如何によつては兩党合同近に進まざるであらう。然し茲に問題となるのは兩党合同後に於ける總裁問題であるが而して右問題の如きは既に南、小磯兩大將の中から擁立せんと畫策してゐる向もあるので、廿九日の有馬・風間兩氏主宰の農革運動の政治結社結成後、政界には大きな波紋が遺されるであらう。

═ 國際聯盟費二百萬圓は ═

明年度豫算より送金中止

外務省の親英外交消滅か

滿洲事変發生當時、國際聯盟は頗る不可解なる態度を取るに至り、我が政府は國際聯盟を遂に脱退するに至つた、然し今日迄我が外務省は依然として親英外交さ一部の反對を押切り強調し来たいために脱退當時既に聯盟とは無關係なるにも不拘聯盟負担費二百萬圓を現送して今日迄来たのである。然るに宇垣外相辭任を契機として

外務省革新派の抬頭となり今迄論議され来た聯盟事務費負担額、支拂を中止すべきであるとの運動が起りつゝあつたが愈々この要望と容れ明年度豫算より聯盟負担費を除く事になつた模様である。即ち現在我國は支那事変中であり戰費の増大は止むを得ない處である際に全く無用なる國際聯盟事務當局に年額二百萬圓宛の負担費を支拂ふ事は不必要であり断じて中止すべきであると言ふのが省内革新派の主張である

‖「農革」の新党運動に反對‖

産組全國大會で政治運動に反對

先般産業組合全國大會が福岡市に於て開催された時、産組の地方幹部は産組を基礎とした日本革新農村協議會が、政治運動に乗り出す事の不可なる事を決議したがこれは「農革」が近く政治運動に進出すべき体制を整へるためその結成大會を開催する運びになつてゐるに對し一大痛棒を加へたものとして、今後農革の動向が注目されて来た。尚餘の新党運動も種々の原因から進捗を見ない折柄、目下新党運動では唯一のホープである農革にこの産組の決議は愈々新党運動に暗影を投げるものとして、新党運動関係者の出鼻を挫いた形である。

‖新党問題愈々政治問題たらん‖

政党、末次木戸塩野三相に悪感情

八田嘉明氏の入閣は緩衝地帶か

閣内新党組の末次、木戸、塩野三相の行動に對し政党方面では之を非難し、官民新党運動を牽制する傍ら、一方には政民両党の緊密なる連繫の下に政党自身で、時局新段階に對應する政党の再編成をなさんとしつゝあるが、閣内新党組三相及び風見書記官長等は新党問題に對し既に行掛りを生し面目問題も伴つてゐる状態で、これに依つて政党對政府間に對立を見ることは不利なりとし、近衛公側近にこの情勢を憂慮し對政党工作に苦心してゐる模様であるが、近衛公はこのため特に政党関係者を閣僚に採り對政党工作を有利になさしめんとして拓相に松岡氏を排し八田嘉明

氏を起用したと傳へらるる又一方政党方面の惡氣流に對抗して愛國陣営方面では政党出身閣僚の更迭を進言してゐる模様であるが、此際内閣も閣僚の補充を終え、人的要素の外形的な整備は出来たが又茲に新党問題を廻つて新なる障害に直面したが、之を如何に切抜けるかは今後注目の的であれる。

‖ 政友會總裁問題再檜舞 ‖

三十一日、代行森喜會合ニ

中島派絶對有力となる

政友會の總裁問題は去る二十五日鳩葉亭に於ける本下成太郎氏主催の下志支部長の會議に於て遠やかに總裁を決定し、國家非常時の際政党としての本分を全うすべきであると言ふに意見の一致を見、直ちに實行委員を擧げ四代行委員と交渉となつた事となつたので本日午後芝三緣亭に於て四代行委員と實行委員と會談する事になつて居り、此の會合の結果更に總務會にかけ協議する事になつてゐるが、有志支部長に於ては總裁を何人になすべきか色々議論があり結局中島鐵相が最適者となつた模様で中島支持をなしてゐるが然し党内の諸事情からして中島氏の出馬は困難であるから此際党外より總裁を決定すべきであるとの空氣が濃厚となつて来てゐる。

‖ 東拓總裁愈々十二月辭任か ‖

後任は拓相の期係で遠藤氏有力

日滿支經濟ブロック結成に邁進しつゝある今日、國内の特殊會社（滿鐵關係）の機構改革も必然的となつて居り支那建設に當つて愈々斷行される模様であるが時に注目されてゐる東洋拓殖會社の總裁問題は既に色々噂されてゐたが安川總裁も其の任期が迫り辭意をもつてゐると傳へられてゐる關係より後任運動が政界並び財界方面に行はれて居り目下噂へられて居るものは逓川中將、高木陸郎氏等が擧げられてゐるものゝそれは一方的説に止まり、拓相に八田嘉明氏の就任によつて俄然竞爭の形氏が最も有力となりつゝある。同氏は八田氏と親交もあり滿洲關係等現地とも良

ら、殆んど決定的であると言われてゐた。

十一月中に於ける

政界裏面史情報

東亜問題調査會

十一月（目次）

一、新党運動再び抬頭 ‖ 右翼と参加團体該解成立 ……（一）

一段と積極的に各派に動かん ……

一、戰時經濟運用の國策の線に沿ふ ‖ 財界の主流經濟奉仕運動に乘出す、 國家總動員法全面的發動を前に ……（二）

一、大阪で防共協定強化の大國民運動 ‖ 經濟思想文化學術の各團体主催 ……（三）

一、英佛の使嗾に踊らされて ‖ 抗戰継續に苦慮する蔣介石と、見限りをつけた支那民衆の動向 ……（四）

一、出直り新党に首相出馬決意 ‖
新「新党」の全貌と参加條件 …… (六)

一、總動員法案十一條の適用で ‖ 國家棉實委員會と誤置か、
財界方面では最後の防壁 …… (八)

一、革新社下部組織の擴大に伴ひ ‖ 革新、愛國陣營より
注目さる、大河内博士の新党入りを期待 …… (九)

一、政府議會對策に ‖ 專任商相も愈々決定か、津田鐘紡社長最も有力 …… (一一)

一、近衛首相の「熱海會談」注目さる ‖
新党問題で西園寺公の意向傳達す …… (一二)

一、台湾拓殖 ‖ を改組擴大して
南支經濟開發に當らしめん …… (一三)

一、來議會に於ける各派の重要資問 ‖ 早く手山積し政府の態度
重視さる、三日の近衛公聲明は各派共に疑問となる …… (一四)

一、柳川中將對支院長官を拒絶か、
結局阿部信行大將に交渉せん …… (一五)

一、北支交通會社を置土産とし ‖ 松岡滿鐵總裁十一月中に
辭任か、今後の氏の政治的活動注視さる …… (一六)

一、運動員法全面的發動問題 ‖ 閣内で意見對立すれば
十一條問題で池田藏相苦境 …… (一七)

一、結局商相專任設置さるん ‖
井坂孝、結城両名有力 …… (一八)

一、戰時食糧對策として ‖
中央機関「農業會議所」設置案 …… (一九)

一、運動員法第十一條解決か ‖ 昨日軍首脳部と池田藏相の
協議説、問題は今後の運用如何にある …… (二一)

一、政友會問題は首脳部の責任か ‖ 全國支部長活躍
新党運動と関聯し愈々政局緊張 …… (二二)

一、土肥原中將最も有力 ‖ 對支院總務長官近く決定
柳川中將は就任を拒絶 …… (二三)

一、新党總裁に大谷光瑞説抬頭 ‖ 鳩山氏の態度斷念は
新党に関係あり、新党運動愈々具体化の模様 …… (二四)

一、第十一條の細目勅令の内容 ‖
議券街で二つの憶測見解 …… (二五)

一、第十一條妥協點の觀測 ‖ 株式配當は許可制度
金融統制委員會設立 …… (二七)

一、宇垣大將青年運動を起す ‖ 政治的生命は依然失はず
地方青年層の支持絶大 …… (二九)

一、松岡滿鐵總裁辭任後 ‖
國民使節として各國に歷遊せん …… (三〇)

一、行惱む商工大臣責任問題 ‖ 前田・町田兩氏の入閣
指嗾說、新党問題の伏案 …… (三〇)

一、宮製新党の行惱みから ‖ 民間新党運動派生せん
宇垣、林擁立の兩派有力 …… (三二)

一、朝鮮行政機構の改革斷行 ‖ 首相愈く強硬
企畫部の新設、外務部の補充 …… (三四)

一、內外共に革新政策の基礎を作らん ‖
態度を持すも、政界は政府の善後處理に注目 …… (三五)

一、東亞再建國民聯盟を中心に ‖
政党は軍部と提携して來議會に復活せん …… (三八)

一、銓衡難の商工大臣專任問題 ‖ 岸 信介氏登場注目さる …… (三九)
一、運動員法十一條發動の反響 ‖ 小會派並びに右翼革新方面不滿、財界は發動後に注目する …… (四〇)
一、近衛内閣存續の限り ‖ 池田藏相は絶對に辭せず 病軀を顧みて十一條運用に當らん …… (四一)
一、生産力擴充のため ‖ 企畫院の質的改組要望さる 財界は「金」より「物」を苦慮 …… (四三)
一、下部組織報國會設立は不可能か ‖ 財團の御用機關なりとの理由で …… (四五)
一、事変處理の「東亞聯邦」運動 ‖ 藤田 勇、原田政治氏等蹶起 …… (四七)
一、愛國陣營全國各團体を統一し ‖ 國内の革新東亞建設に邁進か …… (四九)
一、第十一條發動問題で ‖ 愛國陣營池田藏相に辭職勸告、事変の發展と急進派の活躍 …… (五一)
一、五十億の措地、措家救金の戰時公債見返り說拾頭 法制局法的解決のため調査中 …… (五三)

一、基督教的國際主義を一掃 ‖ 國民再組織と戰時勞働問題に
分裂を免れた社大党奔命せん …… 二
一 首相多年の宿望成らず ‖
革新派の不満議會に現はれん …… 五二
一、北支第一次産業四ヶ年計畫 ‖
北支會社、社債發行の準備なる …… 五三
一、南、平沼擁立運動に伴ひ ‖ 小磯大將擁立運動抬頭す
政友會總裁問題を廻り複雜化 …… 五五
一、林（銑）大將も表面に出でん ‖ 愈々對政党工作に乘出す …… 五八
一、鮎川滿業總裁の洋行と ‖ 吉野前商相の副總裁就任は議會
問題を避ける手段か …… 五九
一、日魯漁業條約の締結内容 ‖
暫定的か、長期かで分岐點 …… 六〇
一、ナチスは結局帝政となるか ‖
ヒットラー・ユーゲントの口吻 …… 六一
一、政友會總裁問題に乘り出した ‖ 久原氏の意圖は
政民両党の合同が目的 …… 六二

新黨運動再び抬頭

右翼と參加團體諒解成立

一說と積極的に各派に動かん

擧國一致體制の強化が叫ばれてから擧國黨に關する新黨運動が異常的に表面化し、一時は結成も時期の問題であると迄に傳へられて來たが其の終局に至つては右翼陸軍方面では社大黨、既成政黨(政民兩黨)が參加することに反對した爲めに新黨運動も中止するの止むなきに至つたのである。然し其次內相斗其の責任もあり、此のまゝ新黨運動を放棄することは出來ず、相當強硬な態度を採りつゝあるとの側近者並に新黨參加團體(東方會、國同、舊昭和會、社大方面)で漏洩してゐる之は右翼團體で反對して來たことに對し可成議をなした結果、此の點右翼も諒解した模樣であり新黨運動再建を目指して遲延せんと準備をなして居り、此の成行は政界に反映するものと見られ注目されてゐる。

‖ 戰時經濟運用の國策の線に沿ふ ‖

財界主流經濟奉仕運動に乘出す

國家總動員法を全面的發動を前に

伍堂卓雄氏の商工會議所入りと共に時局對應の

ねるが、これは戰時經濟確立運用に關する政府の方針に順應せんとするもので、御手洗氏が介在する軍部と財界の提携運動と共に財界主流の時局認識を改めさすに重大な動機となり財界以外からの經濟機構改善運動に先手を打つて、自肅運動に乘出すと言はれてゐるが、重工業方面ではその高率の利潤配當を有意義に行使するため既に自肅運動が開始されてゐる事と共に興味ある問題とされてゐるが、この財界の經濟奉仕運動は國家總動員法の全面的發動氣運濃厚な折これの實施を見ない中に實現したる希望の下に目下奔命中であると言ふ。

‖ 大阪で防共協定強化の大國民運動 ‖

經濟思想文化學術の各團体主催

十一日講演會示威運動を開催せん

戰局新階段に對應するため日獨伊防共協定強化運動が各所に行はれてゐるが、大阪に於ては來る十一日が防共協定締結一週年記念に相當する處から此の日を卜して經濟、文化、思想、學術の各團体が打つて一丸となり防共協定擴大強化の國民運動を起さんとしてゐる。その内容は長期戰に對應するため防共協定を攻守同盟に進展せしめる必要あり、この爲めには國家人として各自が防共徽章を佩用して常住坐臥これを銘記して忘れぬと言ふ強力な國民運動となさんとするもので、これを國内丈けでなく滿洲、新政權下にある支那に迄及ぼすと言ふ大規模な運動で、當日は之に關する講演會に荒木文相を初めとして、獨伊の大使を招待し、學生の示威運動には、滯在中のヒットラー・ユーゲントも參加すると言はれてゐる。

英佛の使嗾に踊らされ

抗戰繼續に苦慮する蔣介石と

見限りをつけた支那民衆の動向

（大局）河上特派員發）蔣介石は武漢の陷落により引責下野の意嚮をもらしたが英佛の暗躍とその結果による絶對蔣政權擁護に傾き良くし、ことにハイフオン、ハノイは早くも香港の地位を奪ひ滇州鐵道、滇越鐵路強化による武器彈藥等の輸送に力を得て再び抗戰繼續の宣言を發し、國府最高要人も亦之れに贊同して第四期抗戰設階に於ける最高方針を決定した。而して一方大藥は

一、指示機關が遠く長江上流一千四百哩の巴蜀の山間に追ひ込められ政治的權威を脆弱化したこと。

一、反蔣財閥を中心とする廣汎なる民衆の反戰運動の熾烈化。

一、思想的困難とこれに伴ふ内部崩壞の危險（必然的なる共產合作の軋轢）

一、遊擊戰術の轉用とこれに伴ふ組織的抗戰の不可能。

一、援支諸外國との連絡の不圓滿。

一、武器輸送路の閉鎖。

一、財政基礎の原始的農村經濟への移行。

一、英、佛、ソ頼むにたらず。

等よりして蔣政權の抗戰力を信ずる者なく、反戰反蔣運動は政治的にも武力的にも統制力を失つた蔣政權の面前に脅威すべき壓力となつて現はれ、日支事變以來香港に在住中であつた支那要人富豪の家族が續々上海、北支方面に赴きつゝあり、國民政府側はこの事實は蔣政權を見捨てゝ新政府に走る動向を示唆するものとして大いに狼狽し、又蔣政權治下の要人、富豪等もこれに衝動を受け、これに倣はんとする者續出するに對し百方手を盡して阻止せんと努力してゐるが大勢の赴く處如何ともすべからざる狀態である。

聲明に右翼、革新方面は不満

政府は重大な決意を有するか

漢口陥落、廣東陥落後の帝國政府の聲明は事変を廻つて利害関係のある諸外國は勿論各方面に大な影響を與へて居る。然し一部右翼陣營及び革新陣營方面では一月十六日帝國政府發表による（國民政府を相手とせず）内容と今回の聲明内容に差異のあることは將來この相違が東洋平和確立に影響すると言ふので不満がある模様であるが、然し今回の聲明は要するに一月十六日聲明を具体的に發表したものと考へられると言ふ説もあり、何れにしても國民政府に関する點は政府の重大なる意味を含むものと見られ今後政局の動向は注視される。

出直り新黨に首相出馬決意

新「新黨」の全貌と參加條件

幾度も生みの惱みに　いだ新黨問題も聖戰第四階段に對應すべく是が非でも近衛公出馬の必要に迫られ玆に新黨問題は再出發をせざるを得なくなり、世上の注目を惹くに至つたが出直り新黨の從來のとそれとの差異を左に掲げて見る。

一、擧國黨運動は擧國一致体制強化、國内相剋解消の意味で指導階級の運動員を目指すもので受皿苟合の傾向免れぬが、新「新黨」は各黨、各派、各層の人物が一切を擲つて裸で參加する事、

一、從來のそれは革新陣營、愛國陣營を主体とする如き嫌あるため包擁力に劣しき憾みあり新「新黨」は右翼の既成政黨、無産政黨排撃の想念を一擲する事に諒解成立

一、無産陣營の麻生、亀井氏等が幹部にならざる事、

結局從來は擧國一致となるもので、如何なる人物も裸になれば參加を拒むものに非ず而して從來の功罪を論せず入黨後是非善惡を決して肅清さなすと言ふのが特色で從來のは幹部の人選で折合はぬ點が多く行惱みの重大原因であつたが、之れは全部白紙に歸り樂救一任になる事、而して之が中心は風見幹長

有馬頼寧、後藤隆之助、山崎猛等であるが、民政黨は別として、政友鳩山一派、國同、東方會、社大、時局、農革等は全部政体參加する筈で、結局これは聖戰中心の資本主義改革を根本とする政治主流の確立である。

‖ 總動員法案第十一條の適要で ‖

國家補償委員會を設置か

財界方面では最後の防壁

日獨伊三國經濟ブロック結成（去る三日聲明の三位一体ブロック内の經濟部門）の重點は先づ第一に今回の事変に於ける占領地區の長期建設であるが、要するに問題は經濟開發であり、此の時に當つて我が財界の全面的支持を必要とする處から近く國家總動員法案中の第十一條（資金統制）を發動する模様であるが此の發動に伴つて財界方面に及ぼす影響は甚大である關係上相當反對もあるので、新黨結成を急ぎつゝあることも事實である。然し同法案が適用される場合は當然特別委員會（國家補償委員會）を設置する必要があるので、財界、政界、政府當局者間で考慮されてゐる模様である。

同委員會は同法案の適用に當つて、損失の補償評價等に就いて研究される機関であると傳へられるが一方財界方面では同委員會を最後の防壁たらしめんとしてゐるので注目されてゐる。

‖ 革新社下部組織の擴大に伴ひ ‖

革新、愛國陣營より注目さる

大河内博士の新黨入りを期待

新黨問題に對する近衛首相の意向は政界、財界、學界、愛國、無産各陣營を白紙のまゝ叫右網羅しその中一つでも缺けてゐる事は擧國一体の條件に適しないと言ふのであるが右の中學界からは大河内正敏氏を重要視してゐる模様である。即ち氏を背景とする本位田、田邊兩博士等革新教授の率いる革新社は土方教授脫退後、機関紙「

革新」發刊以來他の既成大評論雜誌は未だに自由主義、資本主義の範疇を脫却して
ゐないため「革新」を時局認識のための唯一の機關紙として、青年層に迎へられてゐ
るが、このため革新社の下部組織は地方の純正なる青年の參加者多く、部會に於て
も重工業方面の少壯會社員等の共鳴者漸次入會する傾向にあり、やがては一種の革
新結社となるものと見られてゐるため、新黨結社に當つて學界代表として大河內氏
の入黨は期待されてゐる。

‖ 聖戰第四段階對應のため ‖

東拓の事業擴張の必要上

安川總裁の留任說高まる

任期滿了切迫と共に辭任を傳へられてゐた東拓總裁安川勇之助氏は東拓が今回懸
案解決を見た朝鮮に於ける無水酒精の大工場設置問題と、南支方面に於ける漁業權
の問題及びその他事變第四段階に於ける東拓の使命遂行に重大責任加重した爲め今
遽に新總裁を置く事の不利であると言ふ意見があり、八田拓相に之を進言する者も
あらはれた模樣でこの結果拓相も目下の處地に候補者を銓衡しない樣子のため俄然
安川總裁の留任說が高まつて來た。

‖ 政府議會對策に ‖

專任商相も愈々決定

津田鐘紡社長最も有力

政府も議會が迫り又支那事變も愈々重大なる時となつたので閣内の強化策が行は
れつゝあるが、近く對支院總務長官が決定される豫定であり、更に長期戰に伴つて議
會で相當問題となる產業の擴充、商工省と經濟警察との問題等材料が山積してゐる關
係上、現在の池田藏商相は最近健康勝れず又商工省と大藏省との間に確執を生じてゐ
る貿易振興策である、繰合リンク制問題等で其の兼任は色々な意味で支障を來たして
ゐる關係上來議會に於て兩省の兼任は困難となつたので、首相も愈々決して議會迄に

は專任商工大臣を補充する方針であると言はれてゐる。目下商相としては鐘紡社長
津田信吾氏が最も有力視されてゐる。

‖ 近衛首相の「熱海會談」注目さる ‖

新黨問題で西園寺公の意向傳達
原田男及び中川（小）両氏も重大進言

昨日及び一昨日、近衛首相と熱海に於ける原田熊雄男、中川小十郎氏等との會談は所謂「熱海會談」として新黨問題の核心に觸れた西園寺公の意見傳達の重要會談であつたと言はれてゐるが新黨問題は既に常識化され近衛公の決意如何が成否の鍵の如く傳へられてゐた處、更に新黨運動の死命を制する如き重大な鍵を西園寺公が所持して居つたと言ふ事が、この會談によつて發見された譯である。即ち同會談の内容は仄聞する處によれば、近衛公は將來宮中入を讃想されてゐて愼重なる態度を持すべきであつて輕擧は誡むべきであると言ふのが老公の意向らしく、一方軍部、

内務省等の中堅層は、國民運動は天降り式であつてはならぬ。と云ふ下から自然の勢として生れ出づるものでなければならぬと言ふ意見を持し、面會の人毎に之を力説してゐる模様でこのため時局中心の擧國陣營、廚生、亀井氏等無產陣營方面では天降り式でなく、下から燃え上る新國民運動に奔命であるが、この間近衛首相が此問題に對し如何なる方策に出づるか注目されてゐる。

‖「台湾拓殖」を改組擴大して ‖

南支經濟開發に當らしめん

台湾、森岡、今川氏等の活躍

廣東及び武漢三鎭の攻略に伴つて對南支政策が話題に上るのは當然であるが、先般上京して歸台した今川台湾專賣局長、目下滯京中の森岡台湾總務長官等はこの對南支政策には台湾拓殖を樞軸として經濟開發をなすべしと言ふ意見を持ち、各方面に折衝してゐる模様であるが一方には中支振興會社をして之に當らしめよと言ふ意

見と北支、中支両會社に比すべき國策會社を新設すべしと言ふ意見もあるが、南支は今後我が南進論の據點ともなるべき重要なる地點なるを以て之は餘程愼重の態度を要すると言はれてゐるが、台拓中心説が有力である。

‖ 衆議會に於ける各派の重要質問 ‖

早くも山積し政府の態度重視さる

三日聲明は各派共に疑問となる

一、東亜の來議會に對する各政黨の對策は相當愼重なるものがある。目下衆議會で其の成行を注目されてゐるものは左の諸事項である。

一、軍部關係イ、日産の滿洲進出に關するもの（民）ロ、戰時下に於ける軍事動ハ重工業統制擴充問題ニ、兵役改革に關するもの等その他二、三件

二、内務關係イ、銃後國民運動に關する件ロ、轉失業問題ハ、風水害對策ニ、地方自治改革問題ホ、内相の新黨運動に關するもの

三、大藏、商工關係イ、資本統制問題ロ、産業擴充ハ、貿易振興に關するもの二、經濟警察の件ホ、明年度豫算に伴ふ諸問題

四、外務、拓務關係イ、宇垣外拓相辭任による外務省内の對立問題ロ、對支院による諸事項ハ、對滿支移民問題ニ、台湾米統制問題

五、農、鐵省關係イ、内地米穀配給會社問題ロ、銃後農村の勞働力不足問題、等が主なるものであるが去る三日の帝國政府聲明問題に關しては各派共に多大な疑問を有する處があるので此の點特に重視されてゐる。

‖ 柳川中將對支院長官を拒絶か ‖

結局阿部信行大將に交渉せん

對支院の人的整備は事変第四段階に對應するため焦眉の急を告げてゐるが、總務長官には柳川中將が擬せられ、各新聞も報道してゐる樣であるが、これについて同中將側近者が中將の意見を徴した處によると、中將は既に出來る丈けの御奉公をな

して居るし之以上老骨が出る幕でない。但し大命に依れば如何なる御奉公もなすと言ふ事を洩らしたと言ふが、これを政治的に解釋して柳川擁立運動が起るのではないか等と傳へるものもあるが、柳川中將としては確き信念の上から、或は對支院總務長官の就任を拒絶するのではないかと見られてゐるが、その場合陸軍信行大將の聲が高い。

‖ 北支交通會社を置土産となし ‖

松岡總裁十一月中に辭任か

今後の政治的活動注視さる

辭任外相問題の時に松岡洋右氏も相當有力視されて居た。然し結局導に止つたのみで、其の後滿鐵總裁の要職を去る意向を洩して居たが植田關東軍司令官の意向によつて留任說が指頭してゐるもの、松岡總裁も滿鐵の改組を斷行し又北支交通會社も具體的に事業を開始される日も近くにあり、此の北支交通會社を置土産となし愈

愈本月末頃迄には正式滿鐵を辭任すると傳へられて居る。同氏は滿鐵を辭して內閣參議として中央に於て政治的活躍をなすものと豫想されるが目下政治的に重大問題となつてゐる新黨問題等に重要な働きをなすものと思はれるので松岡總裁の滿鐵辭任後は政局に新態勢を起すものと傳へられて居り早くも政變方面の種々話題の中心となつて居り同氏の動向は愈々注目されてゐる。

‖ 總動員法全面的發動問題 ‖

閣內で意見對立すれば

第十一條た池田藏相苦境

總動員法の全面的發動問題は目今の政治問題として各方面ではその成行を注視してゐるがその中でも第十一條が大問題で、これは財閥方面で絶對的に反對して居り池田藏相も臨時資金調整法を以て之に代えんとしてゐるが、本次內相等は閣內に於てこれが發動を強力に主張してゐるが、實際問題としては軍需資材產業方面に於て

ほこ丸の發動は絶對必要とされて軍部方面でも之を要望してゐるに對し池田藏相は信念の上から妥協することはないと見られてゐるから、貿易省設置問題では爲替政策を大藏省から貿易省に移管する事に對して反對してゐる事と併せて、若し總動員法第十一條の發動を閣内で強力に主張する事があれば、池田藏相は苦境に立つものと見られてゐるから、他の閣僚が池田藏相に歩み寄るより妥協の道はないと見られ第十一條の發動問題が如何に落ち着くかは異常な關心を以て見られてゐる。

‖ 結局商相專任說置されん ‖

井坂、結城兩氏有力

先般近衛首相が商工大臣專任設置論を發表した爲め、茲に一つの行掛りが出來池田兼攝商相は辭任の意なき事を發表したにも不拘、これを斷行しなければならぬ破目に立至つた模樣である。これについて首相は池田藏相と會見協議したが商相としては事前に何等の話もなく專任設置を放送した事、台閣に在る以上は兼任であり

き事等から首相の措置に對し不滿の意を洩らしてゐるが、商相としては總動員法第十一條問題、貿易省設置問題に伴ふ爲替政策の移管問題、健康問題等二重にも三重にも苦惱がかさみ、此點同情されてゐるが、若し藏相專任となれば、專任商相には井坂孝、結城豊太郎兩氏が擬せられてゐる。

‖ 戰時食糧對策として ‖

中央機關「農業會議所」設置案

長期戰に對應する戰時食糧問題を對應として農業團體の統制問題が抬頭してゐる模樣であるが、右について全國二十七の農業團體が結成してゐる中央農林協議會を法制化すれば事足りると言ふ說と、農林當局民間では昭和研究會、帝國農會では各々獨自の案を作成してゐる模樣であるが、中央農林協議會以外の右三案は大同小異で、何れも中央機關の法制化、即ち農業會議所設置案であるが、その内容は例へば有機的な經濟活動をなしてゐる方面は産業組合中央會に統合し、一方直接は利益活

動をなさず、しかも利益を同じうする帝國農會、商業聯合會等は之を別に統合し、利益代表を二大別して之を中央機關の指令下に置くと言ふのであり、しかも町村を單位となし、各府縣に之を統合する聯合會を置き、又その上に地域的なブロックとなすと言ふ團体級制度となす方法であるが、農林省も大体農業會議所設置案を採用するものと見られてゐる。

特報

‖ 總動員法第十一條解決か ‖

昨日軍首腦部と池田藏相の協議說

問題は今後の運用如何にある

總動員法案の第十一條發動問題に關して池田藏相と末次內相を始め相當見解が相違して居る模樣であり、此の成行は政治的に極めて注目されて來たが、某方面より傳へられる處によると池田藏相と軍部方面との意見の一致を見た模樣であると言はれて居る、即ち十一條の見解に關して藏相としての立場より其の反對も當然であるが、然し現在の狀勢よりして其の發動は止むなき結果となつて居るので、第十一條の發動を池田藏相も認めたものゝ然し大藏當局の意向も充分取り入れられる模樣である。要するに條件付で十一條の發動が認められたのであると傳へられてゐるが今後の大藏當局の條件並び其の運用方法の如何に注目されてゐる。

‖ 總動員法第十一條に對する ‖
財界の今後の見透し
池田藏相の措置に期待

國家總動員法第十一條の發動に對して財界筋では昨日迄は之の發動を極力阻止せんとする傾向があつたが、陸軍情報部の聲明內容の意外に強硬なる態度に對し、之を斷念し、これの發動の止むを得ざる情勢を察知し觀念の臍を堅めた模樣である。而して情勢かくなる上は池田藏相が軍部等と對立し辭任するが如き事態に立ち到れば重大事と許りに池田藏相の辭任する事のなき樣念願してゐる模樣である。それに

依ると、十一條の發動は止むを得ないとしても、それの運用に於て財界に理解ある藏相の措置に信賴をかけてゐる模樣で、十一條の細目を決定する勅令内容に於て或程度の鉉融を與すものと期待してゐる模樣であるが株式市場に於てはこれに依つて投機的妙味なしとする絶望的な恐怖的人氣が全般をリードして軒並に暴落したが一方有資筋は、軍部と大藏當局の妥協を見越して不時向ひに買出動して居る模樣である。

‖ 政友會問題は首腦部の責任か ‖

全國支部長の活躍注目さる

新黨運動と關連し愈々政局緊張

政友會の總裁問題は前月二十五日木下成太郎氏を中心とする全國有志支部長會議によつて決議された（十一月十日迄に總裁を決定すべしと）問題は四代行委員、又は黨幹部に手交され其の成行を注目されてゐたが、同期日に至るも首腦部は何等具体的な處置を取らなかつたので木下成太郎氏一派は此の責任を四代行委員を始め幹部は當然處置を取るべきであるとなし、總裁問題は四代行委員、幹部辭任問題に發展するものと見られ、議會を前にして木下一派の動きと新黨運動で動きつゝある風見書記官長一派とは益々深い關係を有するもの、如く、此の成行は極めて注目されてゐる。

‖ 土肥原中將最も有力 ‖

樞密院總務長官近く決定か

柳川中將は就任の拒絶により

樞密院總務長官問題は軍部と外務省間で惱んだ問題丈けに其の成行は注目されてゐたが、其の人選範圍も當分軍部出身者を最適任であるとのことから、中將級では柳川平助中將、土肥原中將の兩氏が最も有力視されて居り特に柳川中將は決定的で

あると傳へられてゐたが、同中將は色々な事情があり其の就任は困難と見られてゐる。此のため阿部信行大將説が抬頭して來た、然し何れにしても支那通でもあり又政治的にも手腕の勝れて居る者との條件があるので此の決定迄には相當期日を要するものと思はれるが、事態は急迫してゐる關係上政府も速やかに決定を急いでゐる模様であり、目下の處では土肥原中將の總務長官説が有力となりつゝある。

‖ 新黨總裁に大谷光瑞説抬頭 ‖

鳩山氏の總裁斷念は新黨に關係あり
新黨運動愈々具体化の模様

新党運動の再出發と政友會總裁問題の成行と關連して、政界の動向は重視されてゐたのである。新党運動は風見書記官長が中心で再運動計畫が樹立され一方政友會總裁問題は、木下成太郎一派の發議によつて再び問題化して來てゐる。處が十日鳩山一郎氏が總裁候補を斷念した事は色々な意味に於て注目されて居るのである。然し鳩山氏の斷念には新党樹立に鳩山氏は積極的支持をなす意向を有してゐる點で新党運動も相當進展した事を裏書するものであつた。最近の新党運動は必ずしも近衛首相の出馬を要望するものに非ずとの建前からして各方面に物色中であつた處、政治的手腕並びに近衛公と深い關係を有する大谷光瑞氏を最も新党總裁に適任者であるとの説が新党運動者の一部に抬頭するに至つた。同氏は近衛内閣成立以來暗躍してゐる事は事實であるが今後の新党問題を始め政治問題に重要な役割をなすものと思はれ其の動向は注目されてゐる。

‖ 第十一條の細目勅令の内容 ‖

證券街で二つの憶測見解

總動員法第十一條の發動問題は政界、財界に大きな衝撃を與へ證券市場に於ては大動搖を來し、連日大幅の動きを見せてゐるが、十一條が發動される場合に於て細

旨を決定する場合、軍部と大藏、企畫院等の間に如何なる程度の妥協が成立するかその内容は一刻も早く窺知したき模様であるが、これについて二つの豫測が成されてゐる。即ちその一は、戰時体制強化、生産力擴充の建前から資本主義に大打撃を與へる事はなかるべく、飽く迄資本主義を利用するであらうと言ふ漠然とした常識的樂觀論から、勅令の内容は案外融通性のあるものと見てゐる向と、今一つは軍財係財政の數字的根據から、財界は異常な犧牲を拂ふ事にならうと言ふ悲觀論から、各務鎌吉氏の入閣拒否の事情と相俟つて勅令の内容は可なり財界には重壓となるのではないかと懸念する向もある。而して又配當制限は現在一割以下の配當をなす様式は八分以下に、一割以上のそれは一割迄と言ふ率になるのではないかと憶測する向もある様である。

‖ 總動員法發動の結果は ‖

公債の賣行良好ならん

戰時のフランスに於ては公債所有者が最後の勝利を得たと言ふ經驗に鑑み、總動員法の全面的發動後に對處するため私財を公債に換えんとする傾向があらばれ初めて來た。即ち戰時のフランスに於ては公債の値下りが最も少く、しかも平和とともなれば公債が最も早く回復したためその時他に乘換へると言ふ方法を講じた者は戰當によつて大した打撃を蒙る事なくしかも公益を無視せず私財の保善をなし終へたのであるが、自今有産階級が公債を買ふ事は國策に沿ふものであり、しかもフランスの例に從へば私財保善の最良策であると言ふ處から公債の賣行は益々良好となる模様である。

‖ 第十一條妥協點の觀測 ‖

株式配當は許可制度
金融統制委員會設立

總動員法第十一條の發動問題は池田藏相の經濟論と末次内相等の政治論との間に

如何なる妥協が成立するかと言ふ事が現前の重大関心事であるが、大体左の如き観測が行はれてゐる。即ち第十一條の第二は會社の利益金處分に関する命令であり、第三は資金の強制貸付であるが、その中第二の株式配當制限では

イ、株式の配當を一率にし、それ以上の配當を許さない。

ロ、業種別に依つて制限率を命令する。

ハ、制限率を決めず配當許可制を採る。

右三様の見解が行はれてゐるが、現在の經濟機構に大なる打撃を與へず、産業界の萎縮を避ける地田藏相の方針からハを主張するであらうと見られてゐる。次に第三の資金の強制貸付は金融統制の經濟界に及ぼす影響を考慮して金融統制委員會を設立し、銀行、信託、保険等の代表者を選び委員となしその協議内容を命令として發動せしめると言ふ議が起つて居り、既に委員として明石照男、朝吹常吉、戸澤芳樹矢野恒太、萬代順四郎、山室宗文氏等の呼聲もある。

‖ 宇垣大將青年運動を起す ‖

政治的生命は依然失はず

地方青年層の支持絶大

近衛内閣の第三次内閣改造によつて、外務大臣の重職に就いた宇垣大將は僅か三ケ月間をもつて、對支院問題で軍部と意見一致せず辭任をなした事は今後の政局に多大な疑問を投げたのである。宇垣大將の擁立派は同大將に期待を捨て早くも分裂き見たものもあり、全く政界より忘れかけてゐるが、事實は全然反對で同大將は辭任後は專ら青年運動をなしてゐる。即ち日本青年協會々長の名に於て九州地方より東北地方を旅行し、地方青年團の講演をなして居るのであるが支持者も相當多數あり、果して傳へられる如くに同大將が青年層に其の政治的勢力を得て再び政界に乗出さんとするものであるとするならば、將來の政治的生命も失はれた事より、むしろ強化されたと見るべきであり、同大將の青年運動は極めて注視されるものがある

‖ 松岡總裁辭任後 ‖

國民使節として各國歷遊せん

辭任を決意した松岡洋右氏の動向は各方面から注目されてゐるが、氏が外交畑出身である關係から、今後支那事変に對する帝國の眞意を世界各國に認識せしめるため、國民使節として遊歷したき希望を洩らした模樣である。滿鐵は既に鐵道部を奉天移轉、「滿洲重工業」問題北支開發會社に滿鐵出身が二名迄副總裁に就任して居り、北支開發に就いて滿鐵の主張が可なり通つてゐる關係上、松岡氏の總裁辭任には心殘りがないと言つてゐるが、世界歷遊から歸朝後は、政界で大活躍をなすものと期待されて居る。

‖ 行惱む商工大臣專任問題 ‖

前田、町田兩氏の入閣說抬頭

新党問題の代案、議會對策上

商工大臣の專任問題は、各務鎌吉、村田省藏兩氏の辭退により銓衡難に陷つたが池田藏相としては強いて專任を置く意思を持ちはないらしいに對し近衛首相は行掛り上專任を置かねばならぬ立場になつてゐるので、池田藏相と性格的にもイデオロギー的にも一致した人物を銓衡する方針で、武内可吉（前燃料局長官）賀屋前藏相等に白羽の矢を立てゝゐる模樣であるが武内氏は吉野閥である現村瀨次官との關係が面白くなく、賀屋氏とても同じ内閣から二度去つたのであるから他に人物があれば強いて懇願する事は餘りに義がなさすぎると言ふ見方もあり、時局近衛公の信頼厚い前田米藏氏邊りが適任ではないかと言ふ説もあらはれてゐる。併し前田氏は政友會の代行委員であるから簡單に脫党も出來ず、均衡上から民政党からも入閣させねばならぬのでこの案も暗礁もものであるが、若し有馬農相が病氣の理由で辭任する事があれば、町田、前田兩氏の入閣が可能となる譯で、この爲め參議には新に政民両党から一名宛就任が出來る事になるが、これは新党問題行惱みの代案として又議會對策上頼る効果的であると主張するものもある。

＝第十一條の發動内容＝

利益配當は一割を限度？

今後の政治的解決が注目さる

國家總動員法第十一條發動に關して内閣は勿論、政界、財界に多大な衝動を與へたが、大藏當局と軍部關係と發動することに決定を見た此發動に當つて手心が加へられると思はれるが重要問題は株式の利益金の配當制限と資金統制である、然し傳へられる處によれば利益金制限問題に關しては一割迄を限度となす模様である。要するに一割以上の配當には制限される結果となるのである、金融統制問題には、今日直ちには必要とするものに非ずして、長期戰長期建設に當つて今後何時必要となるか圖り難くその時のために用意されるものであると言ふのである、然し右は斷定的でないので今後の政治的解決で如何なる妥協點を得るか注目されてゐる

＝宮製新党の行悩みから＝

民間新党運動派生せん

宇垣、林擁立両派有力

宇垣大將の地方講演行脚は既一流の準備で地方青年の共鳴を得てゐる様であるがこの情勢を見た宇垣ファンは之等地方青年層を下部組織とする新党樹立について、中央、地方相呼應して積極的に乗出さんとしてゐる。之の成行如何によつては政民両党の對成政党よりも脅威であらうと言ふ見方から、この動向には注目してゐる様であるが、一方林銑十郎大將を推さんとする新党運動も着々計畫を進めてゐるが、大和クラブに席を置く有力筋の後援を初め、愛國陣營、革新陣營、政党の一部等に共鳴者があらはれ漸次勢力を増しつゝある。これは宮製新党の行悩み停滯狀態にある今日頗る有望視されてゐるが、今後益をこの傾向は顯著となり、新党は各方面に派生するであらう。

‖ 朝鮮行政機構の改革断行 ‖

企畫部の新設、外務部の擴充

豫算通過次第實施さるん

朝鮮總督府では時局に對處した中樞的存在たらしめんとして、中央、地方に亘つて廣汎な範圍に於て行政機構の改革を行ふ事になつた。その内容は企畫部の新設と外務部の擴充であるが、これは成案次第來年度豫算に編成する事になつた。企畫部は中央に於ける企畫院に對應するもので、半島の行政萬端を圓滑に遂行せしむるものであり、又官房直屬の資源課、物資調整課を之に移し、新に企畫課を設け、この三課に勅任の部長を置く。又外務部の擴充は半島人の移民について重要な役割を持つてゐるが、これを獨立せしめて移民課と外事課との二課に分け、尚通商課を外事課から獨立し、外務部事務の刷新を圖るのであるが、これは既に財務局の査定を通過して居り、後は中央の諒解を求めれば、來年度より實施出來る譯で、各方面より注目されてゐる。

‖ 南方政策の據點 ‖

台湾拓殖に決定

廣東の攻略によつて南支方面の南方政策の遂行に當つて政府は新國策會社の設立をなすべきであるとの意見と、既に誤立を見てゐる台拓を中心に行ふべきであるとの意見對立して此の成行は時局柄注視されてゐたが、台拓が増資し、南方經濟開發に當る事に決定したが、その主なる内容は南方産業の擴充を計ると同時に南支の占領地區内の電力事業、瓦斯、水道、通信、交通等である。然し今日迄の成果を得るに至る迄に民政党關係の一部有力者が猛烈な反對運動をなした事實があるので今後事業開始迄には議會に協賛を得る必要があるため、に果して初期の南方政策の具体化に色々な支障を來たすものと豫想され注目されてゐる。

‖ 内外共に革新政策の基礎を作らん ‖

首相、飽く迄強硬態度を持す

政界は政府の摩擦處理に注目

現内閣に對する革新陣營及び右翼陣營政界一部に於て帝國政府三日の聲明以來、有田外相の就任、又新党運動に對する首相の態度等に關し必ずしも贊意をせず唯だその成行を注視してゐたが、政府の事なかれ主義は結局現狀維持的政策に不滿の聲は政治的季節に入つてより俄然抬頭して來て居るが、近衛首相は飽く迄自己の力によつて革新政策の基礎を樹立せんとする意向を有してゐる事は事實であり、當面の問題となつてゐる總動員法の全面的發動をなし、對支方針の徹底化を計り、更に國内的には問題の新党（國民再組織）專任商相補充による產業擴充政策の具体化、文官任用令の改革、中央、地方を通しての行政機構の改革等多年傳へられて來た重要問題を一期に解決すべく強硬な態度を有してゐる模樣であると傳へられてゐる。然し果して首相が唯、斷の一字に邁進する場合は各方面に對立摩擦が生ずることは明かであり、議會を前にして此の成行は重視されるものがある。

＝十一勝勅令の大藏省案＝

配當制限は一率に一割二分
他は公債買入れ、長期建設資金

問題の勞動員法第十一條の發動内容である細目を規定する勅令に關し大藏省では重部と妥協成立に可能性ある案を練りつゝあるが、大体左の如きものであると言はれてゐる。即ち

一、配當制限は一率に一割二分乃至八分。

一、利益金處分方法は、その一部は公債買入れ他は長期建設資金。

而して公債買入れと、長期建設資金との割合は目下考究中で、その内容は未だ親知する事は出來ないが、財界當局は愼重を期して最後案を示す覺悟であるから、商工大臣專任級財經當局の案が容れられないとすれば事が面倒となるので、目下各方面の情報を蒐集の上案の成立を期すべく萬全の勢力をたしつゝあるが、それ迄には相當の日子を費すものと見られてゐる。

‖ 東亜再建國民聯盟を中心に ‖

政党は軍部と提携し復活せん

來議會の政党の動向重視さる

政府が新党樹立意向を明かにするや、政民両党では對抗的に東亜再建國民聯盟を結成し、全國に國民運動を開始したことは五・一五事件以來凋落の過程にあった政党に復活の機會を與へた事は事實である。この第一回大會は東京で去る十五日開催さるべき當日は實に七千人の聽衆が集り注目されたのである。此の反響は地方に通じ成然大會要望は全國より多數の申込があり豫定回數の三分一は増加さるものと見られてゐるが、此の現れは近衛内閣が重大時局にあって餘りにも弱体である關係からかゝる現象を生ずるに至ったものと豫想される此のため政民両党は更に前進し完全なる提携のもとに、來る議會に於ては政府の弱体を指摘し、積極的政策に乘出す積極であり、政党は一段と國民の信用を復活するものと見られ來議會は頗る期待されるものがある、斯様に政党が積極的に乘出し軍部と提携し、時局を乘切らんとする意向は充分にあり、新党に代る既成政党の復活は時局が時局丈けに重視されてゐる

‖ 銓衡難の商工大臣專任問題 ‖

岸信介氏の登場注目さる

結城、島津人事には一波瀾

商工大臣の候補者であった各務鎌吉、村田省藏、吉木一男（企畫院次長）村瀬直養（商工次官）等は何れも入閣交渉に應せず辭退したので最近は両岸を伐へて満洲國産業部次長の岸信介氏に白羽の矢を立てゐる模様である。一方池田藏相と懇親の日銀總裁結城豊太郎氏は日銀總裁後任に人を得れば轉出しても差支ない意圖を藏してゐるらしいが、その場合總裁の後任に賀屋興宣、石井勤銀總裁等が下馬評に上ってゐる様であるが、一方副總裁の島津壽一氏は當って大藏省内で勝井眞信、賀屋興宣両氏と共に三羽烏として令名高く、しかも他の両氏は大藏大臣として既に台閣に列してゐるので島津氏として見れば是非ぜひとも大藏大臣としては日銀總裁たらんとするのは人情とし

て當然であると言ふ同情論もあらはれ、結城氏の商工大臣、嵩津氏の日銀総裁は恢適なる人事として之を真面目に取上げ進言する向もある様であるが、軍部関係に於て有利な地位にある岸信介氏の登場は結城、嵩津人事に一敲國をなす当のとして、今後の成行は注目されて居る。

‖ 總動員法十一條發動の反響 ‖

小會派並びに右翼革新方面不満

財界は發動後に注目する

總動員法十一條發動問題は新に政治問題化し其の成行は極めて注視されたが池田藏相の治躍によつて遂に財界の主張が認められ札圓滑に成案を見る段取りとなつたのである、然し十一條の内容には各方面に多大な影響を與べて居る。卽ち社大党、東方會を始めとして第一議院倶楽部等では其の内容が極めて資本家擁護的であり、何等革新的でないと不満を有して居る、又右翼陣營、革新陣營方面にも非難の聲が上つてゐることは事實である。尚ほ、政民両党方面の意向は會社側と関連を有する者は賛成してゐるも何等関係のない一部では十一條發動の意義なしと唱へるものもある。然し大体に於て十一條其のものに對しては大私程重視されねが、むしろ問題は發動後に於ける利益金處分問題に對して財界方面ではその成行を重視してゐる模様である。

近衛内閣存續の限り

池田藏相は絶對に辞任せず

病軀を鞭つて十一條運用に當らん

池田藏相は總動員法第十一條發動問題を廻つて佐藤情報部長との聲明のやり取りのため辞任するのではないかとの觀測が政界、財界の一部に於て行はれ・財界では十一條發動の結果、その運用に人を得ないとなれば一大事と評り・その成行を憂慮してゐた様であるが、之に對し池田藏相は側近に。假令十一條が軍と政治的折衝の

結果圓滿に解決したとは言へ、今、病氣を理由に辭任すれば十一條を廻つての聲明
負けをした爲めであると言ふ誤解を招く故、如何に病勢が進行しても辭任は絶對に
せぬと最近の心境を吐露したと言はれてゐるから、近衛内閣の存續する間は藏相の
更迭はないものと見られてゐる。

重要新段階に民間投資のため

新支那の資源調査機關設置要望

事變の新段階に伴ひ、中、南、北支の開發に協力、民間に於ても投資したき意向
が大分見受けられるので、その資源調査機關設置要望の聲が高い樣である。北支は
興中公司、南支は台灣總督府が僅かに調査機關を持つてゐるが非公開であるため、
財界では政府直屬の右機關設立を進言してゐる模樣である。

‖ 財界、「金」よりも「物」を苦慮 ‖

生産力擴充のため

企畫院の質的改組要望さる

事變新段階と共に國内の經濟的整備も着々行はれつゝあり、既に諮詢の的であつた總動員法第十一條も發動を見る事に決定したが、これについて財界では流動資金と固定資金との交錯點がどの程度に落ちつくかと言ふ問題は今後の問題であるとしても、現下の生産力擴充を政府が如何にリードし、善處するかと言ふ問題について重大な關心を持つてゐる。即ち現在は鉱業管理、資金調整法等により「金」に關しては制限を受けてゐる丈けでなく、「物」の不足のため、物資は「金」では自由にならぬ狀態にあり、爲めに産業は萎縮して「生産力擴充」とはおよそ反對のコースを辿る事になると言ふので、財界では目下の處「金」よりも「物」について苦慮してゐる模樣で、政府筋でこの問題について最も理解あり同情を持つて善處し對策を講じてゐるのは企畫院であるが、これとても實際問題を知らずして、これが對策を

官僚が獨占してゐるため企畫院の人的構成を改組して民間衆智を之に當らしめよと言ふ説が抬頭してゐる。目下企畫院に於ては總動員活發動の結果、この方面の專務據當のため、軍需局の創設、日滿支の政治、經濟、文化の諸政策綜合調整する中樞機關たらしめるための改組説があるが、この際量的な改組よりも質的な改組を斷行して物資の圓滑なる配給を圖り、生産力の擴充に善處すべきであると言ふ要望が高い。

‖ 專任商相の補充は ‖

明年度豫算編成後に

結局宮僚畑より人選か

政府は來議會對策並びに内閣強化を計るために專任商相を補充すべく目下人選をなしてゐると傳へられてゐるが、確實なる筋から聞く處によれば各務鎌吉、村田省藏兩氏に交渉をなしたことは事實であるも兩氏共に其の任に非ずと辭退をなし此處に一頓挫を生ずるに至つた。然し一方政府は明年度豫算編成期の重大時にあり大藏當局を始め各省は頗る多難であり此のため結局商相專任問題は明年度豫算編成後に再交涉をなす模樣であると言ふのである。就中大藏當局との關係を益々複雜化する處となるため次官程度の官僚畑より人選をなすと見られてゐる。一部には專任商相として財界關係より入閣者なしと言ふ説もあるが而して候補者は今の處竹内可吉、岸信介、結城豐太郎諸氏である。

‖ 財閥の御用機關なりとの反對で ‖

下部組織報國會設立不可能

全産聯と協調會の時局對策委員會より成る産業報國運動は世上の期待を裏切つて華々しい活躍を見せてゐないが、これは各種産業會社内に報國會設立に關し、産業報國運動の中心に工業倶樂部のメムバーが多いため、これは結局財閥の御用機關であるとなし下部組織とも言ふべき前記報國會設立に反對してゐる事が原因と見られ

おく丸て設立を見た農業報國運動は既に着々整備を終えてゐる関係上報國運動今後の動向は興味を以て見られてゐる。

‖ 事変處理の「東亜聯邦」運動 ‖

藤田勇、原田政治氏等蹶起

派生する新党運動に一大示唆

かねてから、白人閥の制壓下にあるアジヤ四億民族の開放運動とも稱すべき東亜聯邦運動を畫策してゐた藤田勇氏、原田政治氏等は事変新段階に對應して愈々蹶起「東亜聯邦」期成の實践運動に発出す模様である。その趣意によると、從來我國の殖民地経營は經濟觀念を超越せる役人仕事であつた事、即ち、一、經營事務のみで目的がない、一、官僚の枸子定規で經脊力の自由發展を阻害、一、被治民族の傳統習性を無視した事。この轍を踏まならば東亜再建は覺束ないと言ふに出發して、今次事変の處理に関しては新政權とタイアツプして東洋平和を畫策する事は對張作霖

蔡察、冀東政權等の失敗を繰返す事になるので其の如き方法を講ずる。即ち一、支那から英米佛ソの商品を驅逐して日本品を普ら出し、二、英米その他の大軍擴に對應して東洋に於ける覇權確保するに足る軍擴をなし。而して占領地治維會の出揃ふを待つて二水の聯合會を開催、中央委員政の形式で、

一、日本は領土割讓を求めず、償金を要求せず、

一、支那政府は満洲國を承認し、

一、日本は満洲國政府の日系官吏半數を引揚げ、支那が同意すれば日、満、支で東亜聯邦國憲法を制定、日本が盟主となり、總理、外務、大藏、陸、海、空の六大臣を日本より出し、聯邦憲法の範圍内に於て各國各自の憲法の制定を行ひ、支那貿易國内商行爲は海関税負擔を皆無にし、國防費は聯邦内人口四億が負擔する事になれば、日本は四分一を負擔すればいい事になり、茲に萬代不易の東亜大經綸の基礎が立する事になる。

‖ 愛國陣營全國各團体を統一し ‖

國内の革新東亞建設に邁進か

先づ一大國民運動を起さん

議會も間近になり政局は一段と緊張を呈してゐる、政民兩党は各地方で新東亞建設國民運動を續けてゐる事に、事変下に於ける地方の事情を調査し來議會に重大な る資料を提出するものであると豫想される、一方右翼陣營方面でも事態以來全く時局の成行に注視し具体的な活躍をしなかつた、然し時局は内外共に益々重大化するに至り愛國陣營も國家革新を圖り、新東亞建設に邁進すべきであるとの意見が各團体内に抬頭しつゝあり、今日迄愛國團体は其の根本方針を同じうして居り乍ら統一を圖る事が困難であつたが、此の事変を契機となし全國愛國陣營を統一し、革新一大國民運動をなさんとするものゝ如くに傳へられてゐる。此の現はれとしては去る十二日の日本クラブに於ける會合、十四日赤坂三會堂の會合、十六日松本樓に於ける青年有志の會合等、最近相當活發なる活動準備をなしてゐる。

‖ 第十一條發動問題で ‖

愛國陣營池田藏相に辭職勸告

事変の發展と急進派の活躍

總動員法案第十一條發動問題は、近衛内閣の危機であると見られて居たが、何等問題とならず明春早々發動を見る事になつてゐる模様である。然し同第十一條問題に關し池田藏相の態度並びにその主張する處は要するに資本主義、財閥擁護であり此の點愛國陣營、革新陣營等より頗る非難されて居たが、去る十六日聖戰貫徹同盟の奥戸、中村、瀬尾氏等の代表は藏相を訪問し辭職勸告文を手交した。更に青年党時局關係者等も同様に池田藏相に對して不滿を抱き直接、間接的に辭職を要望してゐるので十一條問題は池田藏相の進退問題に發展して居り今後の成行は極めて注目されるものがある。又革新政策遂行に當つて今後池田藏相が十一條發動の如くに反對する場合は更に池田藏相非難の聲が濃厚となるものと豫想され るので愛國陣營急進分子の活躍は事変の進展と共に重大視される。

五十億の借地、借家敷金の

戰時公債見返り說浮上

法制局法的解決のため調査中

長期戰に對應する經濟政策として戰動員法第十一條發動以外に次の如き案が說へられてゐる。卽ち從來借家・借地の敷金は無利子で貸主が預る習慣が多い樣であるが、この敷金を戰時公債見返りにすると全國的の計數としては五十億の無利子公債を發行した上同樣の結果になる。つまり右は大大都市を初め百有餘の全國都市の借主が敷金の利子を借主の名に於て國防獻金となし、敷金そのものは公債に見返る場合である。かくすれば我國戰時財政に餘裕が出來る丈けでなく、場合によつては五十億丈け多くの融資を得る事になるが、これについて法制局では、地主組合、借地組合、家主組合等について調査をなし法的の解決について研究中であると言ふ。これには愛國陣營方面で聲援を與へてゐる模樣であるがこれは民間の在外資金買上、國內「金」の買上問題と共に注目されて來た。

基督教的國際主義を一掃

國民再組織と戰時勞働問題

分裂を免れた社大奔命せん

戰時の勞働問題の解決については政民両党等の既成團体では勞働者に接觸少く又理解少きため技術的に社大党以外に之に當り得るものはないと言ふ自負と、國民再組織運動については、滿洲國の協和會、北支に於ける新民會の如き党組織となし擧國一致形体の党と党との結合に依らされば東亞協同体の實を擧げるを得ないと麻生龜井氏等は主張なし、風見輸長や平方面と提携の下に之が結成に奔命中であるが、これについて去る廿一日の社大党大會に於て党內に於ける自由主義的な基督教的國際主義一掃の目的で党の分裂について龜井氏が提唱したるに對し河上丈太郎氏等の贊成を得た爲め、党の大勢は擧党龜井氏の國民再組織、戰後の勞働問題對策に贊成し、萬社民系の思想的轉換を促すに至つた爲め、茲に社大党は分裂の危機を免れて、擧党國策に順應する事が明かにされ、今後の動向が注目されるに至つた。

首相多年の宿望成らず

革新派の不満議會に現はれん

文官任用令、中央、地方を通じての行政機構の改革、議院制度問題等で

近衛首相の多年の宿望であつた文官任用令、中央、地方を通じての行政機構の改革、議院制度の改革は前議會に於て其の成案を得て居らず提出する事が出來なかつたのである。然し其の後各調査審議機關を設けて既に一ヶ年の研究をなして居り、愈々來る議會には提案される模様であるが、文官任用令の問題に就いて依然樞密院の猛烈な反對があり、殆んど骨抜となる事と豫想され、又、行政機構の改革も斷行する場合は各方面に議論續出する事となりて全く問題とならず、議員制度の問題に關しても目下審議委員會に於て調査されてゐるものゝ衆議院代表は其の改革に全面的反對をなしてゐる、特に大選擧區制には各派共に不滿を有してゐるので結局意見の一致を見ることは困難視されてゐる關係上今や近衛首相が意圖して來た革新政策の遂行は愈々前途多難を免がれず其の基礎を作る事も出來ない狀態にあり、革新派の不滿は濃厚となり、此の不滿は議會でも相當現はれるものと見られ又議會の成行は極めて問題視されてゐる。

北支第一次産業四ヶ年計畫

北支會社々債發行の準備成る

本月上旬創立した北支開發會社では、北支第一次産業四ヶ年計畫に要する資金は社債に依つて賄ふ事になつたが、完璧によれば資本金三億五千萬圓の五倍即ち十七億五千萬圓の社債發行權がある譯で、第一次計畫は本年度より昭和十六年度迄に小會社を造るため五億圓位の費用を要する見込みであるため、五億圓程度の社債發行の準備をなしつゝあると言ふが、これは外資に期待がかけられない現狀から急速に行ふ模樣で、其の割當は日、滿、支三國に限られる事になり、右各國の財閥及び、鐘紡の如き北支に關係ある産業會社等に及ぶ模樣であり、外資導入が不可能なれば結局十七億五千萬圓の社債發行權限は數次に亘り之を行使することにならう。

‖ 朝鮮、台湾等の外地に於ける ‖

總動員法第十一條發動さるん

東亜の新秩序に邁進する政府は國内態勢を整備強化すべく、國家總動員法第十一條發動さるんの關係を發動する事に決定を見たが、内外地協力するに非されば効果は少しと言ふ處から朝鮮、台湾等にも總動員法第十一條を發動すべく、その準備命令を發した模様である。即ち内地會社のみ、配當を一割以内と限定する事は徒らに内地のみを壓迫するもので、外地を制限外に置く事は經濟政策上有害であると言ふ意見が抬頭して外地にも同法の發動を見んとしてゐるが、今の處、配當制限に二宗があり、その一宗は内地同様一割以内と言ふ説と、外地の特殊事情を考慮して一割一分乃至一割二分の配當制限が妥當であると言ふ説とに分れてゐるが、結局外地の司法發動は内地と同時に行はれるものと見られてゐる。

‖ 南、平沼擁立運動と伴ない ‖

小磯大將擁立運動抬頭す

政友會總裁問題を廻り複雑化

誠會を廻り愈々政治季節となつて、政党方面の對議會に伴つて例年の通り各派入れぞれ擁立運動が行はれてゐる。目下表面的運動化されてゐるものは南擁立派である。南運動は宇垣前外相辭任當時早くも具体化されるに至つたが、最近では此の運動に伴つて各方面の信用を得て居る平沼極相擁立運動である。國本社、修養團を中心として行はれて居る模様であるが、此の二派の間に有力なる勢力を有しつゝある小磯大將擁立運動である。傳へられる處によると久原房之助氏が中心であると言はれ大体に於て政友會を主体とせんとしたものであるが此の動きは相當具体的に進められて居る模様であり、總裁問題の解決にも重大なる關連を有するものと見られ此の成行は頗る注目されて居る。

‖ 林（銑）大将も表面に出でん ‖

愈々對政党工作に乗出す
聖戦新段階對應の政局変革か

総動員法第十一條發動の問題が政治問題となつて以來、聖戦新段階に對應し庶政革新について急進派の二潮流が明瞭になつて來たが、これに伴つて林銑十郎大将一派の動きが注目されて來た。平沼一派ではダルーブ清算をなしつゝあると言はれその第一次のそれは國本社の解体であるが、今はブレントラストと自任してゐる所謂調家の子郎党とも稱さるべき人々について、悪意はなくてもひきめ引倒しになる様な行動ある人々には夫々就職の道を外地に求めしめる様努力してゐるが、之には二様の解釋があつて、一部では平沼派の政界素出しを噂してゐる。一方南大将は、そのグループが餘り多いため善處してゐる旗振で、南大将は渡鮮中の御手洗氏と此點に觸れるであらうと豫想されてゐる。林大将はさきに大道社の社長として堂々と精神運動に乗り出してゐるが、既に確信を得たもの、如く政党方面に渡りをつけるか否かゝ問題になつたが、最近愈々對政党工作に乗出す事に決した模様でその活躍は注目されるに至つた。

‖ 総動員法の發動は漸進的か ‖

今後豫想される四ケ條

第六、十一、十三、十九の各條

総動員法第十一條が問題になつた當時、即ち十一月九日の佐藤情報部長の聲明は經濟街等に意外な衝動を與へ、而も又この聲明に依つて十一條が發動される事に決した事に對する感情と、十一條がこのため徹底的になつたとなす反對的立場の感情とが交錯してゐる模様であるが、又一方には佐藤情報部長の聲明は必ずしも第十一條のみに關しての所信であるから、世上のこれに對する批判は如何様に辛辣でも何等痛痒を感ずるものでなく、今後總動員法全般的の發動があれば問題はないと解する向もある。若し今後の情勢が全面的に發動を許さ

いとすれば次の四條が問題になると言はれてゐる。第六條、第十一條、第十三條、第十九條。

‖ 鮎川滿業總裁の洋行と ‖

吉野前商相の副總裁就任は、議會の問題を避ける手段かも知れない。

第七十三議會で問題となつた、日産鮎川義介氏の滿洲國重工業會社總裁就任當時に於ける財界方面の不滿は政府當局に相當打擊を與へたが、現在でも一部政党方面と連絡を取り、來議會でも更に之を問題となさんとして居るものもあり、此の成行は注目されてゐる。卽ち前議會同樣外資導入問題等が質問されることは明かであるに、鮎川總裁は當時の商相吉野氏を副總裁に就任せしめ、自分は歐米に洋行するし傳へられてゐるが、結局其の目的は外資導入のためであると見られてゐる。然し事情通は外資を直ちに注入する事は不可能であり、要するに支那事變中でもあり占領地區内の各國權益問題が複雜してゐる關係上からであるが、鮎川總裁が飽く迄洋行する時は外資導入に非ず、議會で問題となる事を見透して新調逃避行に外ならないであらうと言ふのであり、鮎川氏の洋行に對して早くも期待外れの感がある。

‖ 日魯漁業條約の締結内容 ‖

暫定的か、長期かい分岐點
今や國民擧げての關心事

廿八日の軍管理工場、主要軍需品工場關係者懇談會の席上、板垣陸相、末次内閣書記官の訓示並びに聲明に於て、ソ聯の企圖する對支援助並に赤化政策はその根據基だ强く、今後愈々積極的に之を繼續するであらうから、國防の充實完整を切望すると述べてゐるが、今後の國防は單に對支燒戰に備へる丈けでなくこの積極的なソ聯の赤化工作に備へなければならぬ事は言ふ迄もない。而して日ソ關係のバロメーターとなるものは日魯漁業問題であり、しかもこの條約締結が暫定的であるか、又如何なる

形式でも多少長期に亘るかによつて、對ソ外交、軍備の上に手心が必要とされるもので、重大問題として注目されてゐるが、ソ聯の背後に如何なる三國が伏在するか否かも注意しなければならぬと言はれ、日魯漁業條約の締結内容に直接關係ある露領水産業者丈けでなく、今や國を擧けての關心事となり、陸相、次官の口述はこの意味で含蓄と餘韻が殘されてゐる。

ナチスは結局帝政となるか

ヒットラー・ユーゲントの口吻

來朝したヒットラー・ユーゲントの口吻を酌酌すると彼等は現在ナチス獨逸の經濟政策については確信はないが、今後に來るべき重大事に對し感情的な確信があると言つてゐる。それは僻村に自適してゐる前皇帝カイゼルの後任であつて、その結果は眞に日本、西に獨逸の二大帝國が世界をリードせねばならぬと意氣込んでゐる模様である。そのためには防共協定の如きは些細な事で、今後全面的に信賴し合ひ、協力して行きたいと言ふ希望を洩したと言はれ、この點から今後日本に學ぶ事が多いだらうと言つて居るが、お家丈の精神的な結合は、ヒットラーの熾望大けてなく帝政復歸と言ふ大きな希望がある故であると言ふ事がはつきりうかがかれるからである。

政友會總裁問題に就て

久原房之助氏の意圖は

政民兩黨の合同が目的

政友會總裁問題に就いて昨廿九日久原房之助氏は鳩山代行委員を訪問し總裁出馬を強調したことは色々な意味で注目されてゐるが、現在の党内情勢では總裁問題は中斷、鳩山兩氏に限られて居り、党外より總裁を決定するやうなことは全く現在の所では豫想されてゐない。久原氏の意圖せんとする所は鳩山、中島兩氏と共に總裁となることは困難なる見透しを付けてゐるものゝ、一應其の意中を公表して兩者の辭

意を明かとなし、以て政民両党合同による新政党樹立を計畫してゐるものであると傳へられて居る。現在両党は事實の合同をなして居り、今なら合同を實現するに頗る容易である所から今回久原氏が積極的に動き始めたものと和くであるが、合同問題に就いては、既に政民両党内の有志は諒解をなしてゐると言はれ、總裁問題は政民両党の合同問題に進展するものと見られ、久原氏の行動は注視されてゐる。

‖ 大陸に積極進出の爲め ‖
鐘紡資業一億圓に増資

鐘紡では鐘紡實業の設立に依り從來の紡績一本建に還元し、實業として大陸進出の母体たらしむると同時に紡績以外の事業は一切實業に統轄するに至つたが今回満州より更にハルピンに進出し鐵山業を営むやら實に多角的經営に乗出すに至つた。而して鐘紡が紡績一本建になつたことは從來の二割五分の配當維持の爲めで、之に依つて確保された譯だが實業は現在五千萬圓の資本金なるも今後北支その他大陸的に進出の爲め増資一億圓に倍額増資をすることになる模様である。

十二月中に於ける

政界裏面史情報

十二月（目次）

一、東條事官の講演に ― 現狀、革新両派の見解
　議会問題まで発展か …… (一)

一、八首会議の國民再組織案 ― 政府は見が非でも断行の決意
　政党反對せば政党法布かれん …… (二)

一、松岡洋右氏満鐵辞任後は ― 近衛内閣の惹課長か …… (三)

一、中島鐵相に辞職勧告の十八團体 …… (四)

一、日満支三國経済ブロック結成に ‖ 財界、政界、官界よりなる、東亜経済協議会 ……（五）

一、久原氏の意中の人物は ‖ 三土忠造氏を起用して 愈々近く実現か ……（六）

一、「國民再組織」を改名して ‖ 近衛内閣後援会となすべし 東亜再建運動に失敗の政党要望 ……（七）

一、政友各総裁問題中島派強硬 ‖ 四代行委員責任を問はん 議会召集後議員総会投票で決せん ……（八）

一、堀切氏被数選挙権の擁護 ‖ 議会制度審議会で問題となる 戸主、兵役満了者に更に與へる ……（九）

一、大阪商大總長川田四郎氏と ‖ 移民問題で愛國團体が乱暴せん ……（十）

一、國民再組織運動に ‖ 政党側の不満理由 愈々政治的重大化の模様 ……（二）

一、企畫院員的に改組されん ‖ 主計局も包含か 藤氏改組後は入閣か ……（三）

一、左翼轉向者の再檢討 ‖ 政党方面に指嗾し 来議会で問題化の模様 ……（三）

一、秋山氏出版記念会山水会議注目さる ‖ 質的擴大と圖つて
一大勢力を作り、對支問題中心の新党運動に發展せん ……(四)

一、津島日銀副總裁の商相就任説 ……(五)

一、勅選議員補充の情実人選を ‖ 政党各方面に不満抬頭
議員制度改革も実現困難 ……(六)

一、政友會總裁問題解決し ‖ 時局を顧慮して各派自重す ……(七)

一、新党問題で社大、右翼に呼掛く ‖
民間新党運動機熟せず ……(八)

一、内閣情報發表機関の統一問題 ‖ 廿一日会と翰長との
感情問題から ……(九)

一、國民再組織運動は全く停頓 ……(一〇)

一、南大將を總裁とする新党運動 ‖ 安達謙藏氏中心で
小會派に動くか、政民両党は成行を靜觀 ……(一一)

一、翰井の政友總裁問題は ‖ 既成政党共同の問題として
民政党革新派重大関心 ……(一二)

一、政友總裁問題を契機として ‖ 両党合同による新党運動
大日本運動積極的に動かん ……(一三)

一、犬原氏の心境は虚心坦懐 ‖ 選挙問題への出馬に対する憶測は
一國一党論の実現と長州閥の再興 …… (二五)
一、愛國協穂研究会は新党運動 ‖ 小會派、政友新党派糾合
林大将擁立運動の露頭か …… (二六)
一、外務省が声明発表を要望 ‖ 第三國の態度好轉の模様 …… (二七)
一、日本発送電会社總裁は ‖ 誰者説の辞退で児玉柏有力視さる …… (二八)
一、吳佩孚氏蹶起の真相 ‖ 基礎は貴族、冀東の農民自治運動
民族自決運動に殷汝耕氏も復活か …… (二九)
一、對支経済懇話会の上海會議 ‖
賀屋委員長の渡支は来春三月か …… (三〇)
一、社大の精神運動具実践運動 ‖ 資本家の啓蒙と自家思想の扱瀘
戦後労働對策萬全の為諮文の交換 …… (三一)
一、楚歌しきりに挙る蔣政権 ‖ 英ソ援助に足らず
獨自の動向決せよ、郭、顧、両氏から悲痛な電報と其の反響 …… (三二)
一、満洲國協和会の改組問題俎上に上る ‖
微妙な政治問題として注目さる …… (三三)

一、両政党議会劈頭先手を打たん ‖ 「東亜再建運動」を決議して
政府の「國民再組織」案を牽制か …… (三五)

一、議会制度の改革案は ‖ 来議会に提出困難となる …… (三六)

一、電力疑獄議会で問題とならん ‖ 松本蒸治氏人権尊重を啓吉か
帝人事件と同様の興業價値 …… (三七)

一、政府 ― 議会對策として ‖ 内閣改造を断行か
二十一日会にも考慮 …… (三八)

一、ロール潰の枡減り問題 ‖ 農民の負担四千萬圓
皇民協同党隊情せん …… (三九)

一、商工大臣の專任は議会中か ‖ 池田氏の健康と
老齢兼任不可 …… (四〇)

一、近衛内閣絶對支持表明説 ‖
豫想の次期時局担當者は一長一短
愛國陣営、革新陣営の一部起たん …… (四一)

一、議会で政党と官僚の衝突不可避 ‖
官僚の秘密主義と攻撃か …… (四二)

一、廿一日會と翰長の感情問題 ‖ 會内に軟論現、はれて好轉か
風見翰長の辞職説解消せん …… (四三)

一、日支國民外交の端緒 ‖ 紅卍教日本後援會の對策
遠藤理事長理事會を招集 …… (四四)

一、政友會總裁問題で四代行から ‖ 白紙委任狀を取つた久原氏
議會後の政党異変に注目さる …… (四五)

一、日ソ漁業條約問題を民間側で愈々重大視 ‖
一大國民運動開催氣運起る …… (四六)

一、政治上層の精神總動員 ‖ 先づ板垣、小磯の提携説
明確なる推進力整備運動 …… (四七)

一、鍾北る高橋總裁の後任問題 ‖ 政府と松岡氏絶衝方針對立
後任決定は来春に持越さる …… (四八)

一、都會代議士、農村代議士の對立 ‖
党派を別に両者の倶樂部結成か …… (四九)

東條次官の講演に

現狀、革新兩派の見解、議會問題まで發展か

去る十一月廿八日坂垣陸相並びに東條次官が軍需工場關係に說明した時局問題に對し特に東條次官の講演内容は財界方面に多大な打撃を與へたが、同問題に就て革新陣營方面では頗る好評をなしてゐる。即ち、支那事變が終すれば直ちに平和となることを豫想して統制のため失業したものが眞劍に考慮せずに居り、又一般國民は支那事變後に來るべき時局について頗る樂觀をなして居る何もあるので支那事變並びに事變後の國民の覺悟を明かにしたことは當然のことである。又一方財界並びに現狀維持派の見方は相當不滿のある模樣であり議會問題にせんとする空氣も多分にあることは要するに財界に不安と與へ、第三國に對して重大なる暗示をなしたことゝなり、國際關係の複雜してゐる今日かゝる重大事項を發表することは輕擧であると言ふのである。

八相會議の國民再組織案

政府は是が非でも斷行の決意

政黨反對せば政黨法布かれん

國民再組織案は八相會議で俎上に上り、真劍に討議されてゐなにも不拘、世上ではその可能性については割引してゐる模様であるが、種々噂はあつてもこの案の遂行は餘儀されてゐる、特にこの種の運動は閣内に於て末次、木戸、有馬諸相が早くから新党運動として奔命した事であり、今では近衛内閣の面目問題となつてまたから假令政党方面で、之に全面的な反對をなし獨自な方法を講ずる事があつても、既定方針通り進むであらうが、その場合政府對政党の正面衝突があるとすれば、之を如何に處理するかと言ふ問題に移行される譯だが、之には近衛内閣の學者三羽烏緒方竹虎、蠟山政道、佐々弘雄氏を顧問として對政党工作を練つてゐるから對策は充分にある譯である。而して其の内容を憶測すれば、後藤秋田清氏多年の主張である政治結社解散（保安條令）又は新に政党法を制定するものと見られてゐる。この故

か、末次、堀野、有馬の三相は、若し政党が強硬に反對し不參加の場合如何にするかとの問に對し簡單に「覚悟」があると洩したと言ふから、今回の再組織案斷行の決意は充分と思はれるが、之れの經過の問題で議會がどう出るか興味を以つて迎へられてゐる。

松岡洋右氏滿鐵辭任後は

近衛内閣の後謀長か

滿鐵總裁松岡洋右氏の辭任説は今日迄何回となく傳へられたが愈、同總裁も去る交通會社の創業と滿洲國燃料國策會社の創立が表裏一體をなす關係から昨年二月頃に一度辭任説が傳へられたのであるが、兩會社の解決を見てから正式に辭任を見るものと言はれて居る、問題は松岡總裁が滿鐵を辭任後、如何なる行動をなすかにあるが、然し傳へられる所によれば、同總裁は近衛首相と特別なる友交關係を有するので辭任後は專ら内閣參議として活躍する模様である、首相は組閣以来杉山元、畑俊六兩氏と專ら相談相手となし

て来たが、宇垣外相問題等を廻って、政界方面に色々な噂を生ずるに至って以来現在では組閣當初の如く重要視する者を絶って来てゐると言はれて居るので、松岡総裁の辞任によって秋山定輔氏の代役をなさしめることではないかと早くも松岡総裁辞任後の行動に對して政治的に内閣の中心となるのではないかと注視されてゐる。

⑩ 中島鉄相に辞任勧告の十八團体

「その自大臣にして重窩工業による利得の收賄を背景として、野心を貫徹せんとする」として政友會總裁問題を指摘し一大臣を廢め一党人として總裁の椅子を与へ」と中島鉄相に辞職勧告をなした愛國陣営十八團体は左の如し

護國青年党、勤王聯盟、東亜聯盟、國士會、皇道翼賛會、中外更始倶楽部、皇學研究所、天輝會、加藤日本社、眞日本社、黒龍會、明政會、政教會、明徳會、國粋大衆党、誠心社、信義塾、大日本皇民社。

‖ 日満支三國經濟ブロック結成に ‖

財界・政界・官界より なる 東亜經濟協議会愈々近く実現か

日満支經濟ブロック結成は、新東亜建設の重要問題であり、政界、財界、官界の一部より要望されて来たが、この前掲とも見られる東京日満支、經濟懇談會の開催、大阪日満支經濟懇談會の開催となったのである。同懇談会に於ては其の目的達成のため日満支經濟連絡機関の設置を全員一致して要望したのであった。これが動機となって愈々近く具体的に協議連絡機関の設置を見る模様である。軍部方面も右經濟機関の実現さるる事を賛成して居るので案外急速に結成されると見られる、即ち其の内は日満支が一体となって新東亜經濟ブロック結成を計るために東亜經濟協議會を作る、同會は日、満、支三國の財界有力者を中心に政界、財界、官界より委員を選出する、又三國貿易の振興、産業の發達、金融の統制、資源開發の資金の運用を計る等が其の主なる目的であると言はれてゐる。

久原氏の意中の人物は

三土忠造氏を起用せん

愈々政友会總裁問題解決か

政友会總裁問題解決に久原房之助氏が去る廿九日鳩山代行委員を訪問したことによつて愈々表面化したが久原氏の行動は全く突然なものであり又更に其の目的が何處にあるか全然不明であるが、最近傳へられる所によると、非常時局下に於て國民の代表機関である政党が總裁を決定されないことは眞に國民に對して申譯がない。政党は政党として課せられた宿題解決に邁進すべきであると言ふ所に其の根據があるものゝ如くである。然し党内の諸狀勢は相當複雑してゐる關係上鳩山中尾兩氏の總裁就任は困難であり、長老でもあり又中立的立場にある三土忠造氏を擁立に押さんとする意向であるらしく、又党幹等は全責任を持つて其の實現をなさんとするものであると言ふ原氏が總裁であるゝ將來時期を見て一國一党の實はれてゐる。此の動向が政党に對して如何に反映するか注視されてゐる。

「國民再組織」を改名して

近衛内閣後援會となすべし

東亞再建運動に支援の政党要望

政民兩党提携による東亞再建運動は新浮、宮城兩氏下に於て不成功に終り出発さ柱かれた感があり、その後政府の國民再組織の問題が積極的に考へられるに至り、東亞再建運動に下火になり線香花火の如き感を抱かせるに至つたが、此問題政府は政党方面のこの情勢を見て如何なる方策を採るか注目されてゐる。一方政党方面では日本に皇道がある以上國民再組織と言ふ言葉は奇異であり、之を近衛内閣後援會と改名するならば、戰時下の行政當局と全國民が支持聲援して外敵に當ると言ふ點で意義があり、その方法如何によつては或意味の擧國一致体勢であると言ふ説もあるものもあり、政府の出様如何では政府の國民再組織の運動と、政民兩党の東亞再建運動とは必ずしも對蹠的なものでないと言つてゐるらしい。

‖ 政友會總裁問題中島派逆襲 ‖

四代行委員責任を問はれん

議會召集後議員總會投票で決せん

政友會の總裁問題は久原氏の出動により俄然世上の注目を惹くに至り、種々同氏の意圖を忖度してゐる模様であるが之れに伴ひ四代行委員の責任が追及される情勢に立ち到つた。即ちこの結果かくの如き重大問題を解決し得ず若し代議士總會の決戰投票に待つ事になるならば四代行の存在價値は全然喪失される事になると言ふのであるが、總裁問題解決前に四代行問題が先決されるのではないかと見られ、その結果總裁問題が本格的に軌道に乘るものと見られてゐる。而して種々の事情により總裁を外部に求める事は不可能の狀態にあり、又牌へられる久原氏の動きが政友會同にありとしてもその前途は盛遠であり、三土氏を推薦しても中島派は之を容れまじから結局は總裁候補を擧げず所屬議員の投票に依る事になると見られてゐる、而して此問題を如何に處理するかは問題であるが、中島派の勢力は侮るべからざるものがある。

‖ 堀切氏複數選擧權の提唱 ‖

議會制度審議會で問題となる

戶主、兵役滿了者に更に與へる

議會制度審議會の選擧制度部會では昨日五項目に亘り決議を見たが右以外の選擧權の問題については堀切善兵衛氏から複數選擧權の提唱をなし之を以て國民に則する選擧制度なりとして極力之の決議さるる事を望んでゐるがその要旨は現行の選擧制度では上は廟堂にある大臣參議より下は市井のルムペンに至る迄投票權は唯一票で、賢愚の如何を問はず、只社會大多數の同情と支援があれば當選するの不合理を指摘して左の如く改むる事一、總括的に一定年令以上の男子には各一票を與ふ。二、國稅納稅者に更に一票を與ふ。三、兵役の義務を了したる者に更に一票を與ふ。四高等教育を受けたる者に一票を與ふ。五、以上の外戶主たる者に更に一票を與ふ。

六、其他宮公職に在る者に更に一票を與ふ。七、但し通計一人三票を越ゆべからず
右の如くであるが二、と四、と六、は種々議論の餘地があるらしい。

‖ 大阪商大總長川田四郎氏を ‖
移民問題で愛國團体が紛淨せん

日、滿、支三國の完全なる提携による新東亞建設は政府も頗る積極的に遂行すべく着々準備を進めて居るが、特に其の移民問題が先決條件となつて居り義勇軍等も組織されてゐるが、日、滿、支の移民問題に關して過日大阪商大總長川田四郎氏はラヂオで全國に放送した、然るに其の内容に關して、愛國團体方面では川田總長紀伊運動を起さんとしてゐる、理由は「日本人が滿洲國、支那に移民を行つて居るが之が將來ドイツのズデーデン問題の如くに解決されしば幸甚であると言ふのである」川田氏が如何なる見解のもとにかゝる放送をなしたものであるか不明であるも右は全く滿洲國と日本帝國の關係を認識しないと同時に又新東亞建設に當つて根本的に

相違して居り、教育者の立場にある同氏が斯様な思想を抱いて居る事は文部當局の責任なりとし居り注目されてゐる。

‖ 國民再組織運動に ‖
政党側の不滿理由
愈々政治的重大化の模様

近衛首相が新党結成困難となり、其の代案として國民再組織運動が日下八相会議で協議されて居るが大体其の骨子は決定するに至つてゐるもの、國民再組織運動に對して、政民両党は絶對反對的態度を取りつゝあることは今後の政局に多大な影響を與へるものとして注目されてゐる。其の反對理由は

一、國民再組織運動の費用の點。二、同運動の支部長に地方長官が就任する點、
三、政党關係者が全く運動の中心より離れてゐること。四、國民組織再編成なる文字に不滿がある。五、立憲政治体制の根本方針を忘却してゐる點。

等が最も其の反對理由であり、此の對策に政府が如何なる修正をなし実施されるかに直面して居り愈々政治的重大化する恐れが多分にあるので注視されてゐる。

‖ 企畫院質的に改組されん ‖

主計局も包含か

濱民改組後入閣せん

事変對應の体制強化に即して企畫院の擴大強化は企畫院内部にも考慮されてゐるが、軍部、財界に於ても各々服安があり、大体量的な改組を機會に質的な改組要望の聲が高くなり民間衆智も糾合する事の急務である事が認識されて来たから興亜院官制の本極りと共に愈々実施されるものと見られてゐるが、近衛公等来の主張である行政機構改革の一端として主計局を企畫院に移管擴大強化すると言ふ意見も抬頭して来たが、之れによつて豫算審議を公正妥當ならしめ、國策樹立の母胎たらしめ又は青写眞等もさる、若し右に挙げた條件が、企畫院改組に全部用いられる事になれば國民再組織の問題も違つた意味で解決される。改組後濱正雄氏は入閣するものと如く、多分商工大臣に轉出するだらうと豫想されてゐる。

‖ 左翼轉向者の再檢討 ‖

政党方面に抬頭す

来議會で問題化の模様

事変長期に亘ることを國民は覚悟し挙國一致体制強化官民共に要望してゐる所である。然しこの事変を利用し經濟的思想的に活躍せんとしてゐる赤化、吾れ吾れ國民として最も警戒を必要とする所であるが事変以来時局の反映によつて、所謂左翼と目されてゐるものは殆んど全部が轉向を聲明してゐる皆係上轉向者の行動に對して非難するものがなかつたが、最近政党方面に轉向者の再檢討説が抬頭するに至り頗る注目されてゐる。此の問題は當然来議會に問題となる模様である、此の事実は

相當政党方面にも材料が集められてゐると傳へられて居る即ち左翼轉向者に對して政府當局は之を認め、或は相當の官職をもつて居る人も多數あるが、之等は何づれも左翼思想を抱いて居るものであり今後も嚴重警戒する必要があると言ふのであり左翼轉向者に對する政党の態度は相當強硬なものがあり成行は注目されてゐる。

‖ 秋山氏出版記念會山水會議注目さる ‖

擴大を圖つて一大勢力を作り 對支問題中心の新党運動に發展せん

去る六日日比谷山水樓に於て「秋山定輔は語る」出版記念會が松村梢風、宮崎龍介、松田謙輔、原田政治諸氏を幹事として開催され出席者は秋山定輔、秋田清、両角竹次郎、長島彦二、猪野毛利栄、津崎尚武、麻生久、亀井貫一郎、橋本徹馬、実川時治郎、佐々井一晁、中溝多摩吉、中野正剛氏等二十數名で、時局柄右の顔振れでは單なる出版記念會には終るまいと想はれてゐたが同日午后四時から十二時迄

の間に一人の退出者もなく熱心に時局を談じた所を見ると何事かい行はれたに相違ないと見られてゐる。而してこの席でこれを機會に右のメムバーを擴大して毎月會合なし、その幹事は議長格の秋田清氏が次期迄に指命する事に決して散會した模様であるが、この會合の中心話題が奈邊にあり、今後何を畫策せんとするかは不明であるが、對支問題を中心とした新党問題に觸れてゐるであらうと想像さ水注目されてゐる。

‖ 津島日銀副總裁の商相就任說 ‖

日銀副總裁津島壽一氏の商工大臣就任說が擴がつた爲め、株式街では之に氣を良くして諸株一斉に反騰したが、津島氏は藏井眞信、賀屋興宣両氏と共に大藏省内の逸材とされてゐた丈けにその入閣は順當であらうが、若し津島氏が就任する說が閣内にあるとすれば左の如き理由からであらう。

一、商工大臣は池田藏相の意圖に反しない人物である事。